

診療科のご案内

旭川赤十字病院

Asahikawa Red Cross Hospital

地域医療支援病院

2026年



Contents

ご挨拶

診療科のご紹介

糖尿病・内分泌内科・・・4	形成外科・・・・・・32
呼吸器内科・・・・・・6	心臓血管外科・・・・35
消化器内科・・・・・・7	泌尿器科・・・・・・37
循環器内科・・・・・・10	耳鼻咽喉科・・・・・・39
腎臓内科・・・・・・11	小児科・・・・・・41
血液・腫瘍内科・・・・13	皮膚科・・・・・・43
脳神経内科・・・・・・14	眼 科・・・・・・45
総合診療科・・・・・・15	産婦人科・・・・・・46
外 科・・・・・・16	歯科口腔外科・・・・47
呼吸器外科・・・・・・23	放射線科・・・・・・49
脳神経外科・・・・・・25	病理診断科・・・・・・50
整形外科・・・・・・28	麻酔科・救急科・・・・51

旭川赤十字病院ホットラインのご案内・・・・・・	52
診療予約手順について・・・・・・	53
WEB予約システムについて・・・・・・	56
医療機器の共同利用について・・・・・・	57
開放病床について・・・・・・	60
たいせつ安心医療ネットのご案内・・・・・・	61
医療支援センターのご案内・・・・・・	62
公式SNSの紹介・・・・・・	63

ご挨拶

旭川赤十字病院 院長 真名瀬 博人



平素から当院連携医療機関の皆さまには大変お世話になり誠にありがとうございます。
日本赤十字社は、1877（明治10）年の西南戦争のさなかに設立された「博愛社」という救護団体が前身で来年設立150周年を迎えます。日本赤十字社の使命は『苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る』であり、当院の基本理念もこれに基づいております。現在、国際紛争の影響で物価高騰、物資供給不足があり今後の予測は非常に困難な状況であります。しかし当院では医療材料の確保に努め、診療体制の維持に努めてまいります。

今年度の診療報酬改定は経営状態の厳しい急性期病院に対して近年になく手厚く配慮されていますが、診療材料費や給与費の高騰をカバーするには十分ではないと捉えております。それに加えて急速に進む高齢化や人口減少、医療従事者の働き方改革、地域医療構想など、道北地域の医療における課題は山積状態です。しかしながら、これらの変化は、医療の質を高め、持続可能な体制を築くための転機でもあると捉えております。

当院では、本年4月に旭川医科大学救急部から新たに5名の医師を迎え、当院の救急患者さまに対する診療能力は大幅に向上・拡充しました。これは救急外来診療の質向上はもちろん、入院患者さまの重症化を防ぐ院内迅速対応チームの活性化にもつながっております。

救急患者連携搬送も積極的に行ってまいりますので密接な医療連携を今後ともよろしくお願いいたします。

総合診療科では昨年12月に平山智也医師が赴任され充実した新体制になりました。予約患者さまのみならず当日紹介や電話相談にも対応しております。

地域医療連携室ではWEB予約システム導入が決定し、多くの診療科で対応できるよう調整を進めております。これにより時間外や休日でも外来予約や共同利用（CT・MRI）の予約が可能となります。また患者さまがスマートフォンで日程調整が可能となるなどご紹介をいただく先生方の負担軽減にもつながると期待されています。

当院はこのパンフレットにあります28の診療科と152名の医師（内26名の研修医）で高度医療を地域の皆さまに提供し、連携医療機関の皆さまと共に地域医療を守ることを目指してまいります。

引き続き皆さまのご協力とご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

診療科の概要

当科では、主に糖尿病、内分泌疾患、脂質異常症、肥満などを診療しています。現在5名の医師で、外来と病棟を担当しています。病棟では自科の患者さまだけでなく、手術や救急入院を含む他科入院患者さまの血糖管理も数多く担当しています。

主な対象疾患

糖尿病（1型、2型、など）

脂質異常症、高尿酸血症

内分泌疾患（甲状腺、副腎、下垂体、副甲状腺など）

肥満症

治療方針

糖尿病は早期診断、早期治療をすることで、糖尿病関連の合併症を予防できます。より早期からの治療で糖尿病が寛解する人も見られています。そのために経口血糖降下薬、インスリン、GLP-1などから一人一人の病気の性質や、生活に合わせて選択・調整しています。

連続血糖モニタリング（CGM）による詳細な血糖日内変動を確認するために、FreeStyleリブレ2やDexcom G7など最新のリアルタイムCGMも積極的に導入しています。1型糖尿病患者さまではインスリンポンプによる持続インスリン皮下注射療法（CSII）や、CSIIとCGMを組み合わせたSAP療法も行っています。

糖尿病多職種チーム医療では、糖尿病認定看護師2名、糖尿病に関わる特定行為看護師3名、糖尿病療養指導士が16名と数多くのスタッフが取得しており、糖尿病治療サポートや相談に対応しています。食事や運動の方法、インスリン注射方法や自己血糖測定器の扱い方、飲み薬の注意点、フットケアなどを、それぞれの専門的立場から指導に当たっています。

「糖尿病地域連携パス」を推進しており、かかりつけ医療機関と連携して、通常はかかりつけ医で糖尿病の治療を続け、定期的な合併症の検査や糖尿病治療の見直しなどのために半年から1年に1回当科を受診してもらっています。現在は連携パスで約100名以上をフォロー中です。

甲状腺、下垂体、副腎などの内分泌疾患や、脂質異常症や高尿酸血症の精査・治療も行っております。

外科と共に「減量サポート・外科治療センター」を立ち上げており、高度肥満の専門的な精査、治療も行っております。肥満症の精査を行い、適切な食事療法のご提案と、GLP-1受容体作動薬やGIP/GLP-1受容体作動薬を用いた薬物治療を行うことも可能です。

診療実績（2025年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	503
外来延数	24,889
新入院数	321

当院で使用可能な最新のリアルタイムCGMとインスリンポンプ



FreeStyleリブレ2



Dexcom G7



ミニメド780G
(インスリンポンプ+CGM)



メディセーフウィズスマート
(インスリンポンプ)

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
あびこ あつこ 安孫子 亜津子 副院長 部長 健診センター長 減量サポーター・外科治療センター長	専門分野： 糖尿病、内分泌、総合内科 医学博士 日本内科学会 認定医・総合内科専門医・研修指導医 日本糖尿病学会 専門医・研修指導医・学術評議員・北海道支部副支部長 内分泌代謝・糖尿病内科領域専門研修暫定指導医 日本糖尿病・妊娠学会 評議員 日本糖尿病協会 糖尿病認定医 旭川地区糖尿病地域連携協議会 代表世話人 旭川医科大学 臨床指導教授 NST専任医師 日本専門医機構 総合診療専門研修特任指導医 日本病院会 病院総合医 日本糖尿病対策推進会議 日本糖尿病学会地区担当委員 北海道副代表
つじ けん 辻 賢 副部長	専門分野： 糖尿病 日本内科学会 認定内科医 日本糖尿病学会 専門医 日本糖尿病協会 糖尿病認定医
たきやま ゆうり 滝山 侑里 医師	専門分野： 糖尿病内分泌内科

医師名	専門分野/認定・専門等
やまがた ひろき 山縣 弘規 医師	専門分野： 糖尿病 医学博士 日本内科学会 内科専門医
みやもと あやか 宮本 彩花 医師	専門分野： 糖尿病・内分泌内科
やちもと こうた 谷地元 皓太 医師	専門分野： 糖尿病・内分泌内科

診療予定表 (初診：9：00～11：00)

	月	火	水	木	金
糖尿病・内分泌1	安孫子	谷地元	山縣	宮本	辻
糖尿病・内分泌2	山縣	安孫子	辻	山縣	谷地元
糖尿病・内分泌3	辻	宮本	-	安孫子	安孫子

診療部長よりひとこと

糖尿病診断早期の病態評価から、急に血糖が悪化した患者さま、血糖コントロールが難しい患者さま、周術期管理、合併症が進行してきた患者さまなど、幅広くご相談をお受けいたします。ぜひお気軽にご連絡ください。できるだけダブル主治医制で共に患者さまのフォローができればと思っており、逆紹介時には「糖尿病地域連携パス」でお願いすることがありますので、よろしくお願いいたします。

肥満症治療も積極的に行っております。体重管理や健康障害でお困りの患者さまがいらっしゃいましたら、ご相談ください。



糖尿病・内分泌内科

呼吸器内科

消化器内科

循環器内科

腎臓内科

血液・腫瘍内科

脳神経内科

総合診療科

外科

呼吸器外科

脳神経外科

整形外科

形成外科

心血管外科

泌尿器科

耳鼻咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔外科

放射線科

病理診断科

麻酔科救急科

診療科の概要

呼吸器内科は現在4名の医師で診療に当たっており、主に肺がん、間質性肺炎などの呼吸器疾患、肺炎などの呼吸器感染症、気管支喘息をはじめとしたアレルギー性肺疾患の診療を行っています。日本呼吸器学会関連施設として、呼吸器内科領域において専門性が不可欠な疾患を中心に診療を行っております。

治療内容

- (1) 腫瘍疾患：肺がん、悪性胸膜中皮腫、縦隔腫瘍、良性腫瘍など
- (2) 感染性疾患：重症呼吸器感染症（肺炎、胸膜炎、膿胸、肺化膿症）
- (3) びまん性肺疾患：間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎、サルコイドーシスなど
- (4) 気道疾患：気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性気管支炎など

診療実績（2025年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	822
外来延数	8,331
新入院数	720

項目	件数
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	1
経皮的膿胸ドレナージ術	3
気管支異物除去術（直達鏡による）	1
気管支瘻孔閉鎖術	2
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用 植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	9
中心静脈注射用植込型カテーテル設置 （頭頸部その他）	1
合計	17

検査件数	件数
気管支内視鏡件数	203
EBUS-TBNA件数	15
胸腔鏡件数	5
合計	266

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
すどう ゆうた 須藤 悠太 部長	専門分野 ：肺癌、COPD、間質性肺炎、 肺高血圧症 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医 ICD（インフェクションコントロール ドクター） 肺がんCT検診認定医師 緩和ケア研修終了 札幌医科大学医学部臨床講師
いけだ けんた 池田 健太 医師	専門分野 ：呼吸器内科 内科専門医
ふるかわ たかひろ 古川 貴啓 医師	専門分野 ：呼吸器内科 内科専門医（日本専門医機構）
おかだ ひろき 岡田 弘輝 医師	

診療予定表

（初診：8：00～11：00）

	月	火	水	木	金
診察1	須藤	古川	池田	須藤	岡田
診察2（新患）	岡田	池田	須藤	古川	古川

診療部長よりひとこと

呼吸器疾患は感染症をはじめ多岐に渡りますが、高齢化に伴い当院に紹介される肺癌患者は年々増加してきております。気管支鏡検査数は年々増加しており、昨年度の検査数は数年前の倍以上となっています。道北地方で肺癌診療を行う施設は限られており、当院には稚内や留萌など遠方の都市から紹介される患者様も多数いらっしゃいます。最近の肺癌治療は個別化医療が加速しており、治療を行う際には遺伝子解析を行い、患者個人に最適な治療を選択できるようになってきております。また個別化治療に伴い、長期生存される方も多くなる一方で治療法は複雑化してきております。旭川という地方都市ではありますが、最先端の治療を提供できるように日々の研鑽は怠らないように心がけております。

診療科の概要

当院の消化器内科は現在11名の医師で診療に当たっており、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会認定指導施設、日本膵臓学会認定指導施設として上下部消化管疾患・肝臓疾患・胆膵疾患など対象は消化器疾患全般に及んでおり、幅広い専門的医療を担当すると共に、朝・夕の病棟回診も欠かさず施行し、円滑な医師・患者関係の確立と分かりやすい病状説明に努めています。さらには外科・病理科・放射線科など関連する各科との密接な協力関係のもとで診療に当たっています。

主な対象疾患

食道の疾患：逆流性食道炎、食道潰瘍、食道癌、食道裂孔ヘルニアなど

胃の疾患：胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ポリープ、ヘリコバクター・ピロリ感染症、慢性胃炎、機能性ディスペプシア、胃癌など

大腸・小腸の疾患：大腸癌、腸閉塞、虫垂炎、食中毒、O-157、潰瘍性大腸炎、過敏性腸症候群、虚血性腸炎、出血性大腸炎、大腸憩室症など

肝臓の疾患：脂肪肝、急性肝炎、B型慢性肝炎、C型慢性肝炎、肝硬変、肝癌、非アルコール性脂肪性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など

膵臓の疾患：急性膵炎、慢性膵炎、膵癌など

胆道系の疾患：胆のう結石症、胆のうポリープ、急性胆のう炎、慢性胆のう炎、胆のう癌、胆管癌、総胆管結石など

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ふじい つねし 藤井 常志	専門分野： 消化器疾患、胆・膵疾患
院長補佐	医学博士
部 長	日本内科学会認定医・指導医・評議員 日本消化器病学会専門医・指導医・評議員 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・ 評議員 日本超音波学会専門医・指導医 日本消化器がん検診学会認定医・指導医 旭川医科大学臨床指導教授 日本肝臓学会専門医 日本ヘリコバクター学会認定医 日本消化器がん検診学会総合認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本膵臓学会指導医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医

あべ まさみ 阿部 真美	専門分野： 内科、消化器病、肝臓病
部 長	内科学会認定医
医療安全	消化器病学会専門医
推進室室長	肝臓学会専門医 総合内科専門医 内視鏡学会専門医・指導医
いしかわ ちさと 石川 千里	専門分野： 消化器内科
部 長	認定内科医 医学博士 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 難病指定医 臨床研修指導医
ももい たまき 桃井 環	専門分野： 消化器内科
副部長	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化器内視鏡学会北海道支部評議員 日本膵臓学会認定指導医 日本医師会認定産業医
ふじばやし しゅうご 藤林 周吾	専門分野： 消化器内科、胆・膵疾患
副部長	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 医学博士 難病指定医 臨床研修指導医

糖 尿 病・ 内分泌内科
呼 吸 器 内 科
消 化 器 内 科
循 環 器 内 科
腎臓内科
血液・腫瘍 内 科
脳 神 経 内 科
総 合 診 療 科
外 科
呼 吸 器 外 科
脳 神 経 外 科
整形外科
形成外科
心臓血管 外 科
泌尿器科
耳 鼻 咽 喉 科
小 児 科
皮 膚 科
眼 科
産婦人科
歯科口腔 外 科
放射線科
病 理 診 断 科
麻 酔 科 救 急 科

糖尿病・ 内分泌内科
呼吸器 内科
消化器 内科
循環器 内科
腎臓内科
血液・腫瘍 内科
脳神経 内科
総合 診療科
外科
呼吸器 外科
脳神経 外科
整形外科
形成外科
心臓血管 外科
泌尿器科
耳鼻 咽喉科
小児科
皮膚科
眼科
産婦人科
歯科口腔 外科
放射線科
病理 診断科
麻酔科 救急科

はせべ たくむ 長谷部 拓夢	副部長	専門分野：消化器内科、肝臓内科、漢方医学 総合内科専門医 認定内科医 肝臓専門医 肝臓指導医 消化器病専門医 消化器病指導医 消化器内視鏡専門医 消化器内視鏡指導医 漢方専門医 医学博士
なかむら あきひさ 中村 晃久	副部長	専門分野：消化器内科、肝臓内科 医学博士（北海道大学） 日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 緩和ケア研修会修了
さいとう あつし 齋藤 敦	医師	専門分野：消化器内科 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
くろだ しょうへい 黒田 祥平	医師	専門分野：消化器内科 内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
かみひら かな 上平 佳奈	医師	専門分野：消化器内科 内科専門医 緩和ケア研修会修了
とうざき ちあき 東崎 千昌	医師	専門分野：消化器内科 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会

はせべ ちとみ 長谷部 千登美	専門分野：肝臓内科、消化器内科 医学博士 日本内科学会総合内科専門医 日本肝臓学会専門医・指導医 日本肝臓学会東部会評議員 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員 日本高齢消化器病学会理事 日本プライマリケア学会認定医・指導医
参 与	
院長補佐	

診療予定表

（初診：8：00～11：00）

	月	火	水	木	金
肝臓外来	阿 部	長谷部 (千)	阿 部	長谷部 (千)	長谷部 (拓)
再診2	中 村	-	東 崎	黒 田	藤 井
新 患	藤 井	石 川	藤 井	齋 藤	桃 井
再診1	藤 林	齋 藤	桃 井	藤 井	石 川

診療実績（2025年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	1,616
外来延数	21,155
新入院数	2,238

主な手術実績（2025年1～12月）

項目	件数
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径 5 cm未満）	9
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径 5 cm未満）	4
皮膚切開（長径 10 cm未満）	1
食道狭窄拡張術（拡張用バルーンによるもの）	1

食道ステント留置術	1
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	6
食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡によるもの、一連として）	13
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	35
内視鏡的胃静脈瘤組織接着剤注入術	1
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	94
血管塞栓術（腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術）	3
血管塞栓術（腹腔内血管等）（止血術）	1
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	3
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	2
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	6
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術）	43
内視鏡的十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）	4
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）	2
内視鏡的十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍ポリープ切除術）	1
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	34
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	6
内視鏡的消化管止血術	147
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	13
胆嚢外瘻造設術	7
経皮的胆管ドレナージ術	28
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	155
超音波内視鏡下瘻孔形成術（腹腔内膿瘍に対するもの）	6
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	251
内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴うもの）	35

内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	253
内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石術を伴う）	17
内視鏡的乳頭切開術（胆道鏡下結石破碎術を伴うもの）	3
内視鏡的胆道ステント留置術	283
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	5
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）（2cm以内のもの）（その他）	1
脾結石手術（経十二指腸乳頭による）	3
内視鏡的脾管ステント留置術	45
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm未満）	493
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm未満）	74
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm以上）	21
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm以上）	13
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	25
小腸結腸内視鏡的止血術	40
小腸狭窄部拡張術（内視鏡による）	6
下部消化管ステント留置術	20
経皮的腎（腎盂）瘻拡張術（一連につき）	1
合計	2215

診療部長よりひとこと

断らない診療理念のもとに消化器救急疾患に迅速に対応致します。お気軽にご相談ください。

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

診療科の概要

当科は、メタボリックシンドロームに代表される慢性疾患から、急性心不全・急性冠症候群・致死性不整脈などの緊急を要する疾患群を主な守備範囲としています。メタボリックシンドロームなどは動脈硬化を惹起し、冠動脈硬化から急性心筋梗塞などの急性冠症候群を引き起こすとされています。

心臓自体を栄養する血管(冠動脈)は、糖尿病や高血圧症、高コレステロール血症などが原因で、血管壁にプラークが沈着・堆積することで動脈硬化を引き起こし、さらには石のように固くなる石灰化病変となり、狭小化し閉塞していきます。今までは、カテーテル治療において、病変部を風船で膨らませステントを留置する方法しかありませんでしたが、このように石のように固くなった石灰化病変は、柔らかい風船で拡張しようとしても十分に広げることが出来ず、ステントを留置してもきれいな仕上がりが得られないことがあります。

そこで当院では、治療困難な石灰化のある動脈硬化病変に対し、有効な治療法の手段として、ロータブレーターというラグビーボールのような形状のドリルの先端に、ダイヤモンドの粒子が塗布してあるこのドリルが高速回転することで、石のように固くなった石灰化病変を切削し、血管を広げ治療を行っております。

まだ導入間もないですが、今後症例数を増やし、患者さまにその恩恵を提供できればと考えております。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
こばやし ひろのり 小林 広学 院長補佐 部 長	腎臓内科部長 兼 循環器内科部長
きしうえ なおひろ 岸上 直広 副部長	専門分野：循環器内科 日本内科学会認定医 日本心血管インターベンション治療学会 認定医 日本循環器学会専門医 難病指定医 植込み型除細動器/ペースメーカーによる 心不全治療研修修了
いんやう まさふみ 印 鑑 雅史 医 師	専門分野：循環器内科
かわはらた わたる 川原田 航 医 師	専門分野：循環器内科 内科専門医
おさむら あゆむ 長村 一步 医 師	専門分野：循環器一般 日本内科学会内科専門医

医師名	専門分野/認定・専門等
くわじま しんご 桑嶋 真悟 医 師	専門分野：循環器内科 日本心血管インターベンション治療学会 認定医
たがしら まさき 田頭 正基 医 師	専門分野：循環器内科

診療予定表

(初診：8:00~11:00)

	月	火	水	木	金
診察1	岸上	岸上	田頭	印 鑑	印 鑑
診察2	田頭	桑嶋	桑嶋	長村	川原田
診察3	長村	-	川原田	-	※
新 患	長村	桑嶋	田頭	印 鑑	川原田

*第2・4金曜日午後：ペースメーカー外来

診療部長よりひとこと

平素より旭川赤十字病院循環器内科へ患者さんをご紹介いただき、また日頃から地域医療連携にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当科では、虚血性心疾患が疑われる患者さんに対し、冠動脈CTや心臓カテーテル検査などを積極的に活用し、迅速かつ的確な診断・治療に努めております。また、急性冠症候群(ACS)で救急搬送された患者さんに対しては、24時間体制で緊急冠動脈インターベンション(PCI)を実施し、地域の救急医療を支える役割を担っております。

不整脈診療においては、カテーテルアブレーション治療の適応を積極的に検討し、治療件数も年々増加しております。心房細動をはじめとする様々な不整脈に対して、安全性と有効性を重視した治療を提供できる体制を整えております。

さらに、当院心臓血管外科との密接な連携により、冠動脈疾患や弁膜症、大動脈疾患などに対する外科的治療も円滑に行える環境が充実しており、内科・外科が一体となって患者さん一人ひとりに最適な治療方針を提案しております。

心不全診療では、多職種によるチーム医療を推進するとともに、心臓リハビリテーション体制も充実し、急性期から退院後まで切れ目のない支援を目指しております。再入院予防や生活の質の向上を重視した包括的な診療を実践し、地域全体で心不全診療を支える体制づくりにも取り組んでおります。

今後も地域の先生方との緊密な連携を大切にし、迅速な受け入れと適切な診療、速やかな逆紹介を心掛けながら、地域の循環器診療に貢献してまいります。引き続き、旭川赤十字病院循環器内科へのご支援、ご紹介を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

診療科の概要

当科では腎疾患の早期診断に積極的に関わり、早期腎炎から慢性腎臓病、末期腎不全・透析管理に至るまでの総合的治療・管理を行っています。

また当院は高度救命センターを有する急性期病院でもあることから、急性血液浄化療法を必要とする患者様に対しては、院内各科と連携をとりながら集学的治療を行っています。

診療内容

腎炎・ネフローゼ

腎炎・ネフローゼ症候群が疑われる患者様には積極的に腎生検を施行し、臨床所見と病理組織学的診断を合わせて治療方針を決定しています。必要があると判断された場合には、ステロイド剤や免疫抑制剤、血漿交換療法等による治療を行っています。

慢性腎臓病（CKD）

慢性腎臓病の診療は主に進行の抑制に重点を置いており、薬物療法・食事療法に積極的に取り組んでいます。さらに腎臓病に合併する心血管疾患の予防や治療を行っています。慢性腎臓病を初めて指摘された方や自宅での管理に不安をお持ちの患者様には、教育・治療のための入院を勧めています。腎機能悪化を抑制し、生命予後を改善する効果のある薬も増えてきています。投薬管理と生活指導を組み合わせることで腎機能が少しでも長く温存でき透析導入を抑制できるよう日々努力しています。

末期腎不全

治療を行っても残念ながら末期腎不全に近付いてきた患者様には、腎代替療法が必要となります。腎代替療法には血液透析、腹膜透析、腎移植があり、当院では血液透析と腹膜透析を実施しています。患者様のご希望やQOLを十分に考慮したうえで治療法を選択していただき、準備から導入までを行っています。腎移植を希望される場合は移植可能施設への紹介を行っております。

主な対象疾患

- ・ 高血圧、脂質異常症などの生活習慣病管理
- ・ 検尿異常に対する精査
- ・ 慢性腎炎に対する治療
- ・ 腎代替療法選択とアクセス作製
- ・ 透析管理
- ・ 透析アクセスに対する評価と治療

透析センター

当院透析センターは慢性腎不全の患者様の血液透析療法、腹膜透析療法を中心に、神経疾患や自己免疫疾患等のために血漿交換療法や免疫吸着療法等あらゆる血液浄化を必要とする患者様に対して治療を行っております。

現在月水金、火木土いずれも午前(9:00～14:00)、午後(14:00～19:00)の2クールで行っております。

また当院は当地区のセンター病院の1つであることから、24時間いつでも緊急時の血液浄化に対応できるように体制を整えております。他院からの透析シャントトラブルに対しても常時対応しております。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
こばやし ひろのり 小林 広学	専門分野： 透析患者に対する循環器合併症
院長補佐	管理・治療、バスキュラーアク
部長	セス（シャント）不全に対する バルーン治療、心不全・電解 質・貧血管理、腹膜透析管理、 腹膜透析カテーテルトラブルに 対する管理・治療
	医学博士
	日本内科学会総合内科専門医、指導医
	日本腎臓学会腎臓専門医、指導医
	日本透析医学会専門医、指導医
	日本循環器学会専門医
	日本腹膜透析医学会認定医、評議員
	日本腎・血液浄化AI学会 評議員
	日本透析医学会VA血管内治療認定医
	日本透析アクセス医学会 VA血管内治療認定医
	透析バスキュラーアクセスインターベン ション治療医学会VAIVT認定専門医
	腎代替療法専門指導士
	日本医師会認定産業医
	NPO法人日本腎臓病協会 慢性腎臓病対策 部会 北北海道ブロック地区幹事
	旭川医科大学臨床指導教授
	札幌医科大学臨床指導教授

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科おさなみ あらた
長南 新太

副部長

専門分野：慢性腎臓病治療、糸球体腎炎の
診断と治療、腎病理診断、心不全、電解
質、貧血管理、腎代替療法、バスキュラー
アクセス不全に対する治療

医学博士

日本内科学会認定医

腎臓専門医・指導医

透析専門医

循環器専門医

総合内科専門医

腎代替療法専門指導士

日本腎病理協会腎病理診断研修

フェローシップ修了

あだち あきら
安達 昭

医師

専門分野：腎臓内科

外科専門医

医学博士

いけだ
池田 みのり

医師

専門分野：腎臓内科おかだ ゆずき
岡田 柚妃

医師

専門分野：腎臓内科きめかわ しゅうへい
衣川 修平

医師

専門分野：腎臓内科

腎臓内科 診療時間

(初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
長南	小林	衣川・池田	小林	岡田

透析室

	月	火	水	木	金
午前：PD外来	-	-	小林	長南	池田
午後：PD外来	-	-	-	-	-
午後：HD外来	小林	小林	-	-	-

診療部長よりひとこと

広い道北地域のなかで、腎臓内科を標榜している施設は少ないのが現状です。専門的治療知識のアップデートを日々努力し、地域連携施設と良好な関係を築きながらレベルの高い腎臓病医療を地域住民の皆様に提供できますよう、頑張っていきたいと思いをします。

診療実績（2024年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	315
外来延数	5,823
新入院数	631

主な手術実績（2024年1～12月）

項目	件数
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	186
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）	76
連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	17
CAPD出口部変更術	10
CAPDカテーテル抜去	7
内シャント血栓除去術	4
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術	3
血管縫合術（簡単）	2
小児創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの）	1
血管結紮術（その他）	1
合計	307

診療科の概要

当科の診療内容は造血器腫瘍を主とした各種血液疾患の診療です。白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性疾患や、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血、溶血性貧血といった難病指定疾患を含む幅広い疾患の治療に取り組んでいます。

血液の領域では道内でも数少ない骨髄バンク・臍帯血バンク認定施設として、年間約10～20例の造血幹細胞移植を実施しており、全国でもトップレベルの良好な成績をおさめています。また、日々めざましく進歩する分子標的治療、免疫療法、分化誘導療法など各分野の最新の治療を幅広く取り入れ、常に最先端の医療を提供できるよう日々努力しています。

診療実績（2025年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	356
外来延数	5,879
新入院数	642

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
こぬま ゆういち 小沼 祐一 部長	専門分野： 血液疾患一般、造血幹細胞移植 日本血液学会認定血液専門医・指導医 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 日本内科学会認定内科医 札幌医科大学臨床教授
さかい としろう 酒井 俊郎 部長	専門分野： 血液疾患一般、造血幹細胞移植 日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医 日本血液学会認定血液専門医・指導医 日本内科学会認定内科医
たなか りょうじ 田中 亮次 医師	
ひしぬま こうた 菱沼 宏太 医師	

外来担当医

（初診：8：00～11：00）

月	火	水	木	金
小沼	田中	休診	酒井	菱沼

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

主な対象疾患

1. 脳の病気

脳血管障害、髄膜炎、脳炎、パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、神経ベーチェット病、ハンチントン舞蹈病、頭痛、認知症、てんかん、不随意運動（振戦など）、脳腫瘍、脳膿瘍、慢性硬膜下血腫、脳性麻痺、正常圧水頭症、脳脊髄液減少症

2. 脊髄の病気

（視神経）脊髄炎、頸部脊髄症、頸部脊椎間板ヘルニア、後縦靱帯骨化症、脊髄空洞症、脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、スモン、家族性痙性対麻痺、HAM、亜急性連合性脊髄変性症、脊髄腫瘍、脊髄血管障害

3. 末梢神経の病気

多発神経炎、単神経炎、多発性単神経炎、絞扼性末梢神経障害、顔面神経麻痺、三叉神経痛、肋間神経痛、坐骨神経痛、ギラン・バレー症候群、CIDP、ライム病、顔面攣縮、中毒性ニューロパチー（砒素、薬物）、代謝性ニューロパチー（糖尿病、尿毒症栄養障害ニューロパチー（アルコール、脚気、ペラグラ）、癌性ニューロパチー、シャルコー・マリー・トゥース病、アミロイドーシス

4. 筋肉の病気

筋ジストロフィー、皮膚筋炎、多発筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチー、封入体筋炎、重症筋無力症、ミトコンドリアミオパチー、遠位型ミオパチー、代謝性ミオパチー、内分泌障害によるミオパチー、先天性ミオパチー、筋強直症候群、周期性四肢麻痺

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
うら しげひさ 浦 茂久 院長補佐	専門分野：神経疾患全般 日本神経学会専門医・指導医（代議員）
部長	日本内科学会総合内科専門医 プライマリ・ケア認定医 日本神経治療学会（評議員） 北海道大学医学部医学科臨床指導教授 日本認知症学会専門医 日本神経感染症学会評議員
わきた まさひろ 脇田 雅大 医師	専門分野：脳神経内科 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・内科指導医 日本神経学会神経内科専門医 日本神経免疫学会神経免疫診療認定医
たなか だいき 田中 大貴 医師	専門分野：脳神経内科 日本専門医機構内科専門医 日本神経学会認定神経内科専門医

まし ま けいた
真島 慧太
医師

専門分野：脳神経内科

診療予定表 初診 8:00～12:00

	月	火	水	木	金
初診	浦	脇田	真島	脇田	田中
再診	田中	浦 (奇数週)	浦 (物忘れ外来)	浦 真島	脇田

診療実績（2025年1月～12月）

項目	患者数
外来新患数	1,263
外来延数	11,981
新入院数	677

診療部長よりひとこと

旭川を含めた道北地方はもとより、空知地方やオホーツク地方も一部含めた脳神経内科拠点病院として24時間体制で患者を受け入れており、神経学会専門医を含めたおよそ4名体制で診療を行っております。

パーキンソン病を含めた神経難病に対しては全ての薬物治療が可能でありデバイス療法としてL-ドパ持続経腸療法・皮下注療法や北大と連携し手術療法も可能であります。神経難病や筋ジストロフィーなどの疾患に対しては短期集中リハビリ療法も行っております。また、神経難病のみならず頭痛、てんかん、認知症、脳梗塞などのcommon diseaseにも全て対応可能で、認知症に関しては週1回の認知症専門医による完全予約制の物忘れ外来も行っております。また、抗アミロイドβ抗体薬も投与可能な施設となっております。自己免疫疾患に関しては血漿交換療法や大量γグロブリン療法も可能で、緊急対応も可能です。神経内科領域の治療は日進月歩で進化しており極力新規医薬品や治療法も導入に努めております。ボトックス治療も行っています。近年、開発が盛んな核酸医薬や生物学的製剤、分子標的薬なども随時導入し、使用可能です。

地域の神経内科医、他科の医師や訪問看護師、ソーシャルワーカー、保健師、薬剤師、リハビリテーションスタッフとも連携し定期的にカンファレンスや研究会、勉強会も開催しており交流を深めるように努めております。当院のみで対応困難と判断した場合や患者さまの希望がございましたら北海道大学病院や札幌市内の病院ともセカンドオピニオンなどの連携も行なっております。

何か疑問点やご不明点などございましたら電話対応も可能ですので気軽にお問い合わせください。

診療科の概要

2026年より、平山智也先生が総合診療科の専任医師となり、総合診療科外来が毎日診察となりました。

専門診療科がはっきりしない症例に対し、幅広い内科的知識を基本として、初期対応、鑑別診断を行うことを目的に診療を行っております。

基本的には地域連携室を通して事前予約をしていただきますが、紹介状がございましたら、予約がなくても当日診察は可能です。

お急ぎの症例、お困りの症例は、平日日中は地域連携ホットライン（080-5595-9191）にご連絡をお願いいたします。

診療内容

- ・専門診療科がわからない症状や疾患
- ・流行時の感染症対応（コロナ、インフルエンザなど）
- ・各種ワクチン（木曜午後・金曜午後 予約制）

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ひらやま ともや 平山 智也 医 師	専門分野： 総合内科、腎臓内科 医学博士 日本内科学会 認定内科医 総合内科専門医・指導医 日本腎臓学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本腹膜透析医学会 専門医 日本病態栄養学会 評議員 日本臨床栄養学会 評議員 北海道内科医会 副会長

診療予定表

初診（8:00～13:00） 診察は9時から開始

月	火	水	木	金
平山				

糖 尿 病・
内分泌内科呼 吸 器
内 科消 化 器
内 科循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科脳 神 経
内 科総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科脳 神 経
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科麻 酔 科
救 急 科

診療科の概要

当科は常勤医師9名で、消化器外科、乳腺外科、腹部救急外科をメインに、さまざまな外科疾患に対応しています。各関連学会の指導医・専門医が複数名在籍しており、診療・手術の質の向上に努めています。

当外科では低侵襲手術を積極的に導入しています。腹腔鏡手術や、さらに精緻な手術が可能になる、da Vinci Xi surgical system によるロボット支援手術を積極的に行っており、道内でも有数の成績をあげています。

消化器領域では消化器内科と定期的にカンファレンス（症例検討会）を実施しており、必要な症例に対しては術前術後化学療法も含めた集学的治療で成績の向上を目指しています。また、多くの予定手術で、術前から周術期多職種連携チームが患者様、ご家族様に関わり、必要な支援を速やかに開始することで、術後の早期回復や、周術期合併症率の低下を目指しています。

肥満症に対する減量手術を行っている、道北で唯一の認定施設です。全国で約30施設しか認定されていない、日本肥満症治療学会の認定施設となっております。

乳腺領域も3名の乳腺専門医が在籍し、最新の治療を提供しています。

当外科は救命救急センターとも連携し、急性腹症や重症外傷などに対し365日24時間体制で対応しています。

主な対象疾患

<食道がん>

ほとんどの症例で、低侵襲で精緻な手術が可能な、ロボット支援下手術を行っています。頸部リンパ節郭清時には耳鼻咽喉科も手術に入って協力していただくことで、根治性の向上に努めています。術後反回神経麻痺を回避する目的で、必要時には術中NIM (Nerve Integrity Monitoring System) を使用しています。

<胃がん>

胃がんに対する胃切除術は、最近ではほぼ9割以上の症例でロボット支援下手術を実施しています。また、可能な限り胃全摘は回避し、ロボット支援下幽門側/噴門側胃切除術を選択することで、根治性を担保しつつ機能温存を目指すよう努めています。当初切除困難と診断された症例で、化学療法を行ったことで病変縮小が得られ、引きつづいて切除手術を行うことができた症例が徐々に増えてきています (Conversion Surgery)。

<大腸がん>

高度進行がん以外、結腸がんでは約8割、直腸がんではほぼ9割以上の症例でロボット支援下手術を実施しています。必要時にはICG (インドシアニンググリーン) 蛍光法を用いて腸管の血流評価を行い、縫合不全率の低下に努めています。低位の直腸がんでは最新の術式であるtaTME (transanal Total Mesorectal Excision：経肛門的直腸間膜切除術) を行い、根治性の確保と肛門温存率の向上を目指しています。

<肛門疾患>

痔疾患など肛門領域の診断・治療を行っています。内痔核に対するALTA4段階硬化療法 (ジオン注射) 実施資格を有する医師も在籍しており、痔のタイプによっては切らずに注射で、短期間で痛みも少ない治療が可能です。

<肝胆膵疾患>

難治性がんの代表である膵臓がんに対し、膵頭十二指腸切除術をはじめとした高難易度手術を行っています。とくに難易度の高い手術においては、肝胆膵領域で国内トップレベルである北海道大学病院消化器外科学教室IIと連携し、治療にあたっています。

消化器内科とのカンファレンスに基づいて、必要な症例に対し消化器内科で術前化学療法を実施しています。初診時根治手術困難と判断された症例でも、化学療法を行うことで病変が縮小し、根治手術を検討できるようになる、Conversion Surgery症例も増えています。

胆道がんに対する高難易度手術も行っています。転移性肝がんや、原発性肝がん (肝細胞がんなど) に対する肝切除術も実施しています。症例によっては傷が小さく低侵襲である腹腔鏡下肝切除術も選択しています。

<胆石症、胆嚢炎>

胆石症などに対する腹腔鏡下胆嚢摘出術を、年100例以上実施しています。急性胆嚢炎では、患者様の状態によっては急性期手術 (早期腹腔鏡下胆嚢摘出術) を積極的に実施し、病期期間の短縮を目指しています。

<急性虫垂炎>

手術適応の場合、ほとんどの症例で腹腔鏡下虫垂切除術を行っています。膿瘍形成性虫垂炎では、保存療法で炎症が軽快し退院したあとで、あらためて数週間後に再入院し腹腔鏡下虫垂切除術を行う治療戦略もあります (Interval Appendectomy：待機性虫垂切除術)。

<そけいヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、その他ヘルニア>

そけいヘルニアに対しては、多くの症例で腹腔鏡下ヘルニア修復術を第一選択としています。症例によっては前方アプローチ法で対応します。

腹壁癒痕ヘルニアに対しても、多くの症例で、癒着防止加工がなされたメッシュを腹腔内に留置する腹腔鏡下ヘルニア修復術 (IPOM法：IntraPeritoneal Onlay Mesh や、IPOMプラス法) を行っています。

その他、再発ヘルニアや特殊なヘルニアに対する手術も行っています。

<乳がん>

乳腺専門医3名による診療体制のもと、診断から手術、薬物療法まで一貫した乳がん診療を行っております。月曜日から金曜日まで毎日新患外来を開設し、迅速な診断と治療開始に努めています。

手術は乳房温存術・乳房全摘術のいずれにも対応しており、形成外科と連携した乳房再建術も施行可能です。

近年、乳がん薬物療法は新規薬剤の登場により大きく進歩しており、治療選択はますます複雑化しています。当科では、乳腺専門医による適切な治療選択に加え、総合病院としての強みを活かした他科との密な連携により、幅広い治療に対応しております。

地域の先生方と連携しながら、安心してご紹介いただける診療体制を整えております。

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

＜減量・代謝改善手術＞

糖尿病・高血圧・高脂血症・睡眠時無呼吸症候群のいずれかを伴う高度肥満症に対する、減量・代謝改善手術を保険診療として行っております。道北地域で唯一の施行施設です。また、全国でも約30施設ほどしか認定されていない、日本肥満症治療学会の認定施設となっております。道内では北海道大学病院と当院のみが認定されており、安全に手術を実施する体制が整っております。手術を希望されない症例に対しても当院糖尿病・内分泌内科と連携し、栄養・運動・薬物療法を効果的に行っていきます。

＜救急＞

当院は救命救急センターを有しており、ドクターヘリや救急車による救急搬送症例など、さまざまな重症救急症例が集中しますが、当外科では救急症例に対し24時間365日体制で対応しています。

急性腹症の中には、消化管穿孔、絞扼性腸閉塞、進行癌に伴う急性腹症、ヘルニア嵌頓、汎発性腹膜炎といった、必要時に緊急手術を行わなければ死に至る重症例も含まれます。その場合、救急医の初療につづいて、当科でも速やかに診断、判断し、必要に応じて即時、緊急手術を実施しています。

また、交通事故や転落事故などといった重症外傷/多発外傷に対し、三次医療機関として高度な医療（全身管理や集中治療、必要時の緊急手術など）を提供しています。重症外傷患者の受け入れが決定した時点で、院内トラウマコールが発令され、外科系医師だけでなく救急医や麻酔科医、放射線科、救急/手術室看護師、臨床工学部、輸血部、検査部、放射線科といった多くのスタッフが集結し、チーム医療で迅速に診断・治療を開始する体制が構築されています（ATST：旭川赤十字病院外傷外科チーム）。

当科には救急関連学会の教育医、専門医、認定医、インストラクター、DMAT有資格者が複数名在籍し、道北の救急医療を支えています。

診療予定表

（初診：8：00～11：00）

	月	火	水	木	金
一般外来	青木	東海林	市村	東嶋	担当医
	栗原	山本	石塚	-	-
	担当医	担当医	-	-	-
乳腺外来	吉田	吉田	休診	吉田	吉田
	-	東海林	-	-	-

山本：減量サポート外科治療センター 内視鏡外科外来
14時～16時 予約制

市村：肛門外来

* 外来患者で手術目的の方は12:00以降の診察になります。
* 専門外来（減量サポート・外科治療センター・内視鏡外科）来は毎週火曜日14:00～16:00予約が必要です。

診療実績（2025年1月～12月）

項目	患者数
外来新患数	507
外来延数	6,502
新入院数	867

主な手術実績（2025年1～12月）

項目	件数
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径5cm未満）	16
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm未満）	16
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm以上10cm未満）	2
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径5cm未満・真皮縫合）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径5cm以上10cm未満・真皮縫合）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径10cm以上）（その他）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径10cm以上・真皮縫合）（その他）	1
皮膚切開（長径10cm未満）	3
デブリードマン（100cm ² 未満）	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）	1
関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	1
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	1
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	1
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（マンモグラフィ又は超音波装置によるもの）	84
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	24
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	19
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	17

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・内分泌内科
呼吸器内科
消化器内科
循環器内科
腎臓内科
血液・腫瘍内科
脳神経内科
総合診療科
外科
呼吸器外科
脳神経外科
整形外科
形成外科
心臓血管外科
泌尿器科
耳鼻咽喉科
小児科
皮膚科
眼科
産婦人科
歯科口腔外科
放射線科
病理診断科
麻酔科救急科

乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術） （内視鏡下によるものを含む）	5
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施有り）	4
乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）	3
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部の操作によるもの）	3
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（胸部、腹部の操作によるもの）	2
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	29
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	2
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	4
リンパ節摘出術（長径3cm以上）	2
腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要とす）	1
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	7
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	3
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	2
ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	2
腹腔鏡下ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	2
腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	2
腹腔鏡下ヘルニア手術（閉鎖孔ヘルニア）	1
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	37
試験開腹術	4
ダメージコントロール手術	2
腹腔鏡下試験開腹術	18
腹腔鏡下試験切除術	4
限局性腹腔膿瘍手術（ダグラス窩膿瘍）	1
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1
急性汎発性腹膜炎手術	13
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	9
後腹膜腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	1
腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出	4
後腹膜悪性腫瘍手術	1
胃縫合術	1
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	6

内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	1
胃局所切除術	1
腹腔鏡下胃局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）	1
胃切除術（単純）	1
胃切除術（悪性腫瘍）	1
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）（内視鏡手術用支援機器使用）	17
腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術）（手術用支援機器）	3
腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）	1
腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	4
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）（内視鏡手術用支援機器使用）	10
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	6
腹腔鏡下胃腸吻合術	5
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	4
腹腔鏡下噴門形成術	2
胆嚢摘出術	6
腹腔鏡下胆嚢摘出術	109
胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局する）	3
総胆管胃（腸）吻合術	5
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	1
肝嚢胞切開術	1
肝嚢胞摘出術	1
肝切除術（部分切除）（単回の切除によるもの）	4
肝切除術（部分切除）（複数回の切除を要するもの）	1
肝切除術（2区域切除）	1
腹腔鏡下肝切除術（部分切除）（単回の切除によるもの）	1
脾体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）	2
脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術）（脾同時切除）	1

脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術） （脾温存）	1
脾体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢 郭清等を伴う腫瘍切除術）	1
腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術（脾同時切 除）	1
脾頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭 清等を伴う）	7
脾頭部腫瘍切除術（脾頭十二指腸切除	3
脾頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う場	2
脾管空腸吻合術	1
腹腔鏡下脾摘出術	1
破裂腸管縫合術	4
腸管癒着症手術	15
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	18
小腸切除術（その他のもの）	13
腹腔鏡下小腸切除術（その他のもの）	10
腹腔鏡下小腸切除術（複雑なもの）	1
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴 わないもの）	33
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴 うもの）	16
結腸切除術（小範囲切除）	12
結腸切除術（悪性腫瘍手術）	10
結腸切除術（結腸半側切除）	4
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸 半側切除）	9
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手 術用支援機器）	58
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	9
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径 2 cm 未	1
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	1
腸吻合術	3
腸瘻造設術	3
人工肛門造設術	23
腹腔鏡下人工肛門造設術	28
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）（直 腸切除術後のもの）	9

人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）（そ の他のもの）	5
腹腔鏡下人工肛門閉鎖術（直腸切除術後 のものに限る）	2
人工肛門形成術（その他）	2
直腸異物除去術（開腹によるもの）	1
直腸腫瘍摘出術（経肛門）	1
直腸切除・切断術（切除術）	2
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	1
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切 除術）（内視鏡手術用支援機器使用）	15
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術） （内視鏡手術用支援機器使用）	8
腹腔鏡下直腸切除・切断術（経肛門吻合 を伴う切除術・内視鏡手術用支援機器使	6
腹腔鏡下直腸切除・切断術（超低位前方 切除術・内視鏡手術用支援機器使用）	3
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切 除術）	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術） （内視鏡手術用支援機器使用）	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（超低位前方 切除術）	1
直腸脱手術（経会陰）（腸管切除を伴わ ないもの）	1
痔核手術（硬化療法（四段階注射法によ るもの）	4
痔核手術（脱肛を含む）（根治手術（硬 化療法を伴わない））	1
痔核手術（結紮術）	1
肛門周囲膿瘍切開術	3
痔瘻根治手術（複雑）	1
腎摘出術	1
膀胱壁切除術	1
合計	924

糖尿病・

内分泌内科

呼吸器

内科

消化器

内科

循環器

内科

腎臓内科

血液・腫瘍

内科

脳神経

内科

総合

診療科

外科

呼吸器

外科

脳神経

外科

整形外科

形成外科

心臓血管

外科

泌尿器科

耳鼻

咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔

外科

放射線科

病理

診断科

麻酔科

救急科

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
まなせ ひろと 真名瀬 博人 院長	専門分野 ：消化器外科、一般外科、乳腺外科 精中委マンモグラフィ読影医 日本外科学会専門医 医学博士 日本消化器外科学会認定医 旭川医科大学臨床教授 産業医科大学産業医 病院総合医 乳腺認定医 北海道大学客員准教授 総合診療専門研修特任指導医 消化器がん外科治療認定医
いちむら たつのすけ 市村 龍之助 院長補佐 部長	専門分野 ：消化器外科、内視鏡外科、 一般外科 特に胃、大腸癌手術、 内視鏡手術、大腸癌化学療法、 肛門痔疾患の診察・治療 医学博士 日本外科学会認定医、専門医、指導医 日本消化器外科学会専門医、指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 北海道外科学会評議員 日本臨床外科学会北海道支部評議員 インфекションコントロールドクター （ICD）（日本外科感染症学会） 日本DMAT 北海道DMAT 精中委マンモグラフィ読影医 Certificate of da Vinci System Training As Console Surgeon 旭川医科大学 臨床指導教授 北海道大学医学部医学科 臨床指導教授 内痔核に対する四段階注射講習会受講

やまもと かずゆき 山本 和幸 部長 先進低侵襲・ロボット手術センター副センター長、減量サポート・外科治療センター副センター長	専門分野 ：胃外科、大腸外科、内視鏡外科 肥満手術、ロボット手術 医学博士 日本外科学会 外科専門医・指導医 がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会評議員 消化器・一般外科（胃）技術認定医 ロボット支援手術認定プロクター （手術指導医）（胃）（結腸）（直腸） 北海道内視鏡外科研究会 世話人 Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon
しょうじ やすひと 東海林 安人 副部長	専門分野 ：消化器外科、内視鏡外科、 救急・外傷外科、乳腺外科 医学博士 日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本消化器病学会指導医・専門医 日本乳癌学会乳腺専門医 乳がん検診超音波検査実施・判定医師 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会乳房再建責任医師 日本Acute Care Surgery学会認定外科医 日本腹部救急医学会教育医 日本医師会認定産業医 検診マンモグラフィー読影認定医 日本救急医学会認定インフェクションコントロールドクター（ICD） 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本DMAT登録隊員 JATECインストラクター ATOMインストラクター Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon

医師名	専門分野/認定・専門等
くわばら しょうた 栗原 尚太 副部長	専門分野： 消化器外科・肝胆膵外科・ 内視鏡外科 医学博士（北海道大学） 日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・ 一般外科） 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術認定 プロクター（大腸） 日本肝胆膵外科学会評議員 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 日本栄養治療学会認定医 緩和ケア研修会修了 T N T 研修会修了 臨床研修指導医 Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon
よしだ なな 吉田 奈七 副部長	専門分野： 乳腺外科 医学博士 外科専門医 乳腺専門医 乳腺認定医 マンモグラフィ読影認定医

医師名	専門分野/認定・専門等
あおき ゆうま 青木 佑磨 医 師	専門分野： 消化器外科 外科専門医 Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon 腹部救急認定医 消化器がん外科治療認定医 消化器外科専門医 JATECコース修了 緩和ケア研修会修了
とうじま ひろやす 東嶋 宏泰 医 師	専門分野： 一般外科、救急、Acute Care Surgery 外科専門医 緩和ケア研修会修了 Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant 日本腹部救急医学会腹部救急認定医
さとう けんたろう 佐藤 謙太郎 医 師	専門分野： 外科

糖尿病・
内分泌内科呼 吸 器
内 科消 化 器
内 科循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科脳 神 經
内 科総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科脳 神 經
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科麻 酔 科
救 急 科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療部長よりひとこと

当院はドクターヘリ運用施設、三次救急医療機関です。そのような施設の外科として、まず救急医療、緊急手術に対応すべく、外科医師一同、日々業務に励んでおります。

各種消化器がんに対しては、消化器内科などとも協同し、正確で高度な診療と、まず根治性が確保される確実な手術を目指しています。可能な症例では、ロボット支援手術に代表される低侵襲で精緻な手術を提供しています。

乳がんの症例数も増えており、乳房再建の手術件数も増加しています。

減量・代謝改善手術も、周辺の多くの医療機関からご紹介いただいております。

院内では多職種チーム医療で、治療中の患者様、ご家族様の不安を少しでも軽減できるような対応を、医療スタッフ全員で心がけております。さらに、多くの専門職による視点を融合させることで、より良い治療成績を提供できるよう努めています。

皆様からのご紹介を通じて、地域に貢献し、地域の皆様が安心して暮らせるよう尽力させていただきたいと思っておりますので、いつでもご連絡・ご相談ください。



減量サポート・外科治療センター



膵頭十二指腸切除術

手術の様子



減量手術



ロボット支援下結腸癌手術



外科スタッフ

診療科の概要

呼吸器外科の受け持ち範囲は肺癌、気胸などの肺疾患の他、縦隔、胸膜、胸壁、横隔膜、胸管、胸部神経など、胸部にある心臓と食道以外の外科的疾患全てです。常に呼吸器内科と連携をとって治療方針を決定し、検査から手術、抗腫瘍剤など術後の治療へと円滑な治療が可能となっています。手術は低侵襲な（体への負担が少ない）胸腔鏡手術を中心にっており、手術全体の9割が胸腔鏡で可能です。2022年3月からは最新の手術ロボットである、「ダビンチXiサージカルシステム」を用いた「ロボット支援下胸腔鏡手術」を開始し、更に精密で低侵襲（体の負担が少ない）手術が行えるようになりました。また、生検といって病気の診断のため肺や胸腔内の組織をとる必要がある場合があり、そのような検査のための胸腔鏡手術（審査胸腔鏡）も積極的に行っています。一方で進行癌に対する根治手術は開胸して気管支、血管、胸壁などを合併切除する必要があります。当院は救命救急センターを有する救急指定病院であり、交通事故などで多発外傷を負った患者さまも多く運ばれてきます。呼吸器外科ではこのような患者さまの治療も、外科、救急科を始めとした各診療科と協力しながら行っています。

主な対象疾患

肺癌、肺腫瘍 気胸、血胸 膿胸、肺膿腫 肋骨・胸骨骨折、肺挫傷など胸部外傷
縦隔腫瘍 胸腺腫・重症筋無力症 胸膜、胸壁、横隔膜疾患 胸管、神経疾患

診療予定表

（午前 8：00～11：30 午後～15：30）

月	火	水	木	金
休診	休診	休診	福永	福永・林

診療部長よりひとこと

2019年4月より赴任し、年120件程度の呼吸器外科手術を行ってまいりました。このうちの約半数は肺癌です。肺癌は癌の中でも進行が早く悪性度が高いとされていますが、一方で早期発見し手術を含めた根治治療ができると、高い確率で治療が見込める事も知られています。最近肺末梢の小結節で、気管支鏡等による確定診断が困難な肺癌疑い病変に対し、診断的治療として胸腔鏡下術を行う例が増えています。術前の画像で肺癌と判断したうちの9割以上が早期肺癌です。当院では侵襲の少ない胸腔鏡手術、肺切除量の少ない区域切除を積極的に行い良好な成績を得ていますが、2022年3月よりロボット支援下肺悪性手術ができるようになり、更に精密で侵襲の少ない手術が可能となっています。小さな病変でも肺癌の可能性がございますので、ちょっとした異常陰影であってもいつでもご紹介ください。

また、従来外科と協力して診療を行ってまいりましたが、2022年4月より呼吸器外科専任医が増員となり、更に診療体制が充実しました。気胸、膿胸、胸部外傷といった救急疾患・外傷も24時間体制で受け入れておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ふくなが あきら 福永 亮朗 副院長 部長 先進低侵襲・ロボット手術センター センター長	専門分野： 呼吸器外科、消化器外科、 乳腺外科、一般外科 日本外科学会認定医、専門医、指導医 日本呼吸器外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医、指導医 精中委マンモグラフィ読影医 医学博士 消化器がん外科治療認定医 胸腔鏡安全技術認定医 Certificate of da Vinci system training as a console surgeon 日本内視鏡外科学会技術認定医（呼吸器外科医） 乳腺認定医 Robo-Doc Pilot Japanese ClassB 日本呼吸器外科学会 ロボット支援手術プロクター 統括DMAT
はやし さとし 林 諭史 副部長	専門分野： 呼吸器外科・乳腺外科 外科専門医・指導医 呼吸器外科専門医・評議員 乳腺専門医・指導医 細胞診専門医 がん治療認定医 乳房再建エキスパンダーインプラント責任医師 精中委マンモグラフィ読影評価 A S 胸腔鏡安全技術認定医 日本呼吸器外科学会ロボット支援手術 プロクター Certificate of da Vinci System Training As Console Surgeon Robo-Doc pilot Japanese Class B 精中委乳がん検診超音波検査実施判定医師 医学博士 緩和ケア研修会修了

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

形成外科

診療実績

項目	患者数
外来新患数	114
外来延数	794
新入院数	147

主な手術実績

項目	件数
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径5 cm以上10 cm未満）	2
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径5 cm以上10 cm未満）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径5 cm未満）	1
骨折観血的手術（鎖骨）	1
胸腔鏡下試験開胸術	3
胸腔鏡下試験切除術	2
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	8
経皮的膿胸ドレナージ術	1
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器使用）	2
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器使用）	3
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	2
肺切除術（肺葉切除）	1
胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの））	22
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器使用）	3
胸腔鏡下肺縫縮術	2
肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）	1
肺悪性腫瘍手術（部分切除）	1
肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）（内視鏡手術用支援機器使用）	24
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除、1肺葉超・手術用支援機器使用）	22

胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	7
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	3
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）	1
胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術	2
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	1
合計	117

2025年（1～12月）

上記項目の内、ダヴィンチを使用した件数	件数
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	2
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	6
胸腔鏡下肺切除術	0
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	3
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	50
合計	61



ダヴィンチXiサージカルシステム

外科・呼吸器外科スタッフ
前列左から三人目福永医師

診療科の概要

脳神経外科は脳、神経及び関連する血管などの付属器官を含めた神経疾患の中で主に外科治療の対象となりうるものを扱う診療科です。当院では特に脳血管障害、脳腫瘍、脳神経障害（顔面けいれん、三叉神経痛）を中心に診療しています。

1) 24時間365日の救急医療

当院は救命救急センターおよびドクターヘリ基地を有し、24時間365日救急対応を行っています。脳神経外科医も常時院内に待機しています。320列高速CT、1.5テスラMRI、3D-DSA、脳血流SPECTなどの画像診断装置も24時間稼働しており、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、頭部外傷など一刻一秒を争う病態にも迅速に対応しています。また、脳卒中ホットラインや、電子カルテ情報共有のinet、画像参照システムのJoinを活用し、旭川市内病院やクリニック及び、富良野協会病院、留萌市立病院といった周辺地域の基幹病院とも高度な連携を行っており、ご紹介いただいた脳疾患患者さまの診断、治療を当院で行った後、地域の病院でのリハビリテーション及びフォローアップといったシームレスな医療を提供しています。

2) 高度な専門治療

当院では開頭手術、脳血管内手術ともに高い技術を有しており、脳動脈瘤に対するクリッピング、コイル塞栓術、脳動脈閉塞に対する脳血管バイパス術、血栓回収療法、内頸動脈狭窄に対する内頸動脈内膜剥離術、頸動脈ステント留置術、顔面けいれん、三叉神経痛に対する神経血管減圧術のほか、大型脳動脈瘤に対するバイパス併用クリッピングやフローダイバーターの留置といった高度の治療も可能です。また難易度の高い頭蓋底腫瘍に対する治療も積極的に行っています。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
たきざわ かつみ 瀧澤 克己	専門分野：脳血管障害手術（脳動脈瘤
副院長	手術・バイパス手術・
部長	内膜剥離術）、頭蓋底腫瘍、 医療安全
	日本脳神経外科学会専門医
	日本脳卒中学会認定医・指導医・評議員
	旭川医科大学臨床指導教授
	藤田医科大学ばんだね病院 客員教授
	日本脳神経外科救急学会評議員
	日本意識障害学会評議員
	病院総合医

わだ はじめ 和田 始	専門分野：脳卒中、脳血管内治療 日本脳神経外科学会指導医・専門医 日本脳卒中学会指導医・専門医 日本脳血管内治療学会指導医・専門医 博士（医学）乙第456号
さくらい じゅろう 櫻井 寿郎	専門分野：脳外科一般、脳血管内治療 日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医
たけやし せいじ 竹林 誠治	専門分野：脳神経外科一般、脳卒中外科 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術指導医 医学博士
こばやし とおる 小林 徹	専門分野：脳神経外科、脳卒中外科 日本脳神経外科学会認定専門医 日本脳卒中学会認定指導医 医学博士 日本脳卒中の外科学会認定指導医
こばやし りな 小林 理奈	専門分野：脳神経外科、脳卒中 医学博士 日本脳神経外科専門医
にいほ たけや 新甫 武也	専門分野：脳神経外科 日本脳神経外科専門医 日本脳卒中学会専門医
おおなか けいすけ 大仲 佳祐	専門分野：脳血管障害 (直達術、血管内治療) 日本脳神経外科学会専門医・指導医 日本脳卒中の外科学会技術認定医 日本脳卒中学会専門医・指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医
やまぐち なつき 山口 なつき	専門分野：脳神経外科 脳神経外科学会 日本脳神経血管内治療学会 てんかん学会 てんかん外科学会 北海道救急医学会

糖尿病・

内分泌内科

呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

糖尿病・ 内分泌内科
呼吸器 内科
消化器 内科
循環器 内科
腎臓内科
血液・腫瘍 内科
脳神経 内科
総合 診療科
外科
呼吸器 外科
脳神経 外科
整形外科
形成外科
心臓血管 外科
泌尿器科
耳鼻 咽喉科
小児科
皮膚科
眼科
産婦人科
歯科口腔 外科
放射線科
病理 診断科
麻酔科 救急科

たなか まさひろ 田中 将大 医師	専門分野：脳神経外科 日本脳神経外科学会専門医 A C L S I C L S I S L S J P T E C P N L S ボトックス、ゼオマイン施注医 B K P 認定医
つちや りょうすけ 土屋 亮輔 医師	専門分野：脳神経外科一般、頭部外傷 医学博士 日本脳卒中学会認定専門医 日本脳神経学会専門医 日本脳卒中の外科学会技術認定医 日本脳神経外傷学会専門医
ひらばやし たくみ 平林 拓海 医師	専門分野：脳血管障害 日本脳神経外科学会専門医・指導医 脳血栓回収療法実施医
やまだ よしろう 山田 芳郎 医師	専門分野：脳神経外科
まきの けんいち 牧野 憲一 特別顧問 名誉院長	専門分野：脳循環代謝、脳核医学、脳卒中治療 医療マネジメント 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 医学博士 日本医師会認定産業医 病院総合医 総合診療専門研修特任指導医

主な対象疾患

脳動脈瘤 脳梗塞 脳腫瘍
顔面けいれん、三叉神経痛

診療予定表

(初診：8：00～12：00)

	月	火	水	木	金
第一診察室	平 林	小林 (理)	櫻 井 (血管内治療外来)	竹 林	小林 (徹)
第二診察室	新患外来	新患外来	新患外来	新患外来	新患外来
第三診察室	-	-	大 仲	土 屋	和 田 (血管内治療外来)
第四診察室	瀧 澤	瀧 澤	-	-	-

診療実績 (2025年1月～12月)

項目	患者数(2025年)
外来新患数	1,168
外来延数	11,929
新入院数	1,193

主な手術実績

手術	2025年	2024年	2023年
脳動脈瘤クリッピング術 (破裂)	36	46	52
脳動脈瘤クリッピング術 (未破裂)	30	45	46
頭蓋内血腫除去術	21	27	13
脳血管バイパス術 (モヤモヤ病含む)	18	19	10
内頸動脈内膜剥離術	16	9	21
脳動静脈奇形摘出術	2	3	5
頭蓋内腫瘍摘出術	34	32	29
広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	1	0	0
経鼻的下垂体腫瘍摘出術	3	5	3
脳神経手術 (顔面けいれん・三叉神経痛)	11	18	11
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	73	71	96
水頭症手術 (シャント手術)	38	29	50
急性硬膜下血腫・外血腫	14	7	9
その他(手術)	37	58	34
血管内手術	2025年	2024年	2023年
脳動脈瘤塞栓術 (破裂)	14	8	9
脳動脈瘤塞栓術 (未破裂)	28	24	23
(フローダイバーター留置術)	11	12	3
頸動脈ステント留置術	16	17	14
脳動静脈奇形塞栓術	1	1	8
シャント疾患塞栓術	4	7	1
血栓回収術	63	44	59
その他(血管内手術)	6	5	6
合計	477	475	499

診療部長よりひとこと

日頃より多くの患者のご紹介をいただき、感謝申し上げます。当科は昭和42年に開設されましたが、以降道北地方における脳疾患治療の拠点病院として機能しています。従来より開頭手術においては日本有数の症例数と治療成績を取っており、全国的にも認知されておりますが、2020年度より血管内治療チームも充実したものとなり、あらゆる困難例に対応可能な体制が整っています。患者のみならず、ご紹介いただいた連携病院の先生にも満足いただける医療を提供できると自負しておりますので、動脈瘤等の血管障害のみならず、頭蓋底を含む脳腫瘍、三叉神経痛・顔面けいれんといった機能疾患まで、引き続きご紹介をいただければと存じます。

また、2024年度より名寄市立病院、留萌市立病院の脳神経外科診療は当科からの出張医により対応しています。当科とも連携し、緊急手術等の対応も行っていますので、当院への受診が困難な場合等には、まずは名寄市立病院、留萌市立病院の脳神経外科にご紹介いただければと思います。

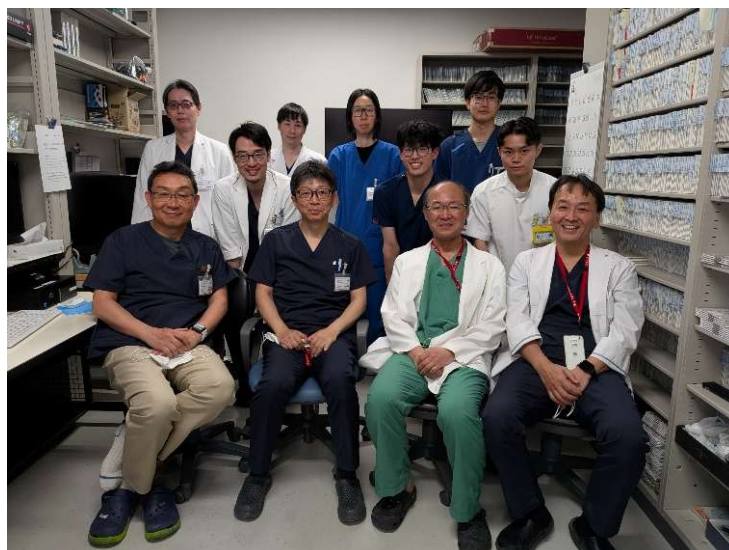
今後ともよろしくお願い申し上げます。



《 外視鏡手術の様子 》



《 血管内治療の様子 》



《 脳外科スタッフ 》

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

診療科の概要

旭川赤十字病院は救命救急センターを有し、2次・3次救急を担うとともに道北ドクターヘリ基地病院としての役目もあり、旭川近郊のみならず道北一円から急性期の患者を受け入れております。当科でも救急要請は基本的に受け入れていますが、再接着を要する指切断、血管吻合を必要とする開放骨折は対応できないため、旭川医科大学病院や札幌徳洲会病院にお願いしています。また四肢麻痺を伴う脊髄損傷も北海道脊損センターにお願いしています。

外来は平日の午前中のみで、紹介状のない新患の方は近隣の医療機関をご案内しています。専門外来は特にありません。骨軟部腫瘍は専門性が高く、症例集積のためにも大学にお願いしています。

毎日手術を行い、年間手術件数は800例前後です。約半数が臨時手術で、特に多いのが高齢者の大腿骨近位部骨折です。地域医療連携バスを用いており、可能な限り即日手術、翌日リハビリ開始として2週間前後で連携先に転院をお願いしています。

上下肢の外傷は、前述の特殊症例以外ほぼ全てに対応できます。多発・多臓器損傷であることもよくありますが当院では各専門科の協力体制により集中治療が来ています。そのほかMSWや栄養課など様々な職種のサポートでより良い医療を目指しています。脊椎疾患は外傷、変性疾患を問わず、頸椎から腰椎まで治療しています。慢性疾患ではおもに膝の靱帯再建や人工関節手術を行っています。

主な対象疾患

- * 上下肢の外傷多発・多臓器損傷脊椎疾患は外傷、変性疾患を問わず、頸椎から腰椎まで治療
- * 両膝の靱帯再建や人工関節手術

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
たかはし しげる 高橋 滋 部 長	専門分野 ：膝関節外科 日本整形外科学会スポーツ医 日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション医
たなか まさひと 田中 雅仁 部 長	専門分野 ：整形外科、関節外科、四肢外傷、骨盤外傷 日本整形外科学会専門医 JABO/OTC Japan 世話人 日本整形外傷学会 評議員 北海道整形外科外傷研究会 評議員

さとう ごう 佐藤 剛 医 師	専門分野 ：足の外科、スポーツ整形 外科、膝関節外科 日本整形外科学会認定専門医 医学博士 日本スポーツ協会公認スポーツ医
おかやま ひろき 岡安 浩宜 医 師	専門分野 ：整形・脊柱 整形外科専門医 脊柱脊髄病医
たにむら けんせい 谷村 謙成 医 師	
たにし けいた 谷越 啓太 医 師	
かも ゆうき 加茂 裕樹 医 師	専門分野 ：脊椎脊髄病 日本整形外科学会専門医(機構専門医) 日本脊椎脊髄病学会認定医 脊椎脊髄外科指導医 脊椎脊髄外科専門医

診療予定表

(初診：8：00～11：00)

月	火	水	木	金
高橋	谷村	岡安	高橋	岡安
佐藤	田中	佐藤	谷村	田中
谷越	加茂	加茂	谷越	-

診療実績（2025年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	972
外来延数	11,836
新入院数	1133

主な手術実績（2025年1～12月）

項目	件数
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径 5 cm未満）	37
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径 5 cm未満）	21
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径 5 cm以上 10 cm未満）	19
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径 10 cm以上）（その他）	17
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径 5 cm以上 10 cm未満）	9
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径 10 cm以上・真皮縫合）（その他）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径 10 cm以上）	1
皮膚切開（長径 10 cm以上 20 cm未満）	5
皮膚切開（長径 10 cm未満）	2
デブリードマン（100 cm ² 未満）	3
デブリードマン（100 cm ² 以上 3000 cm ² 未満）	2
分層植皮術（25 cm ² 未満）	1
分層植皮術（100 cm ² 以上 200 cm ² 未満）	1
全層植皮術（25 cm ² 以上 100 cm ² 未満）	1
全層植皮術（100 cm ² 以上 200 cm ² 未満）	1
筋膜切開術	1
腱鞘切開術（指）	22
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）	1
腱切離術（指）	2
腱切離術	1
腱剥離術（指）	2
腱縫合術（指）	5
腱縫合術	2
アキレス腱断裂手術	14
腱延長術	1

腱移植術（指（手、足））	2
腱移行術（指（手、足））	2
腱移行術（その他）	1
骨搔爬術（下腿）	1
骨折非観血的整復術（前腕）	36
骨折非観血的整復術（上腕）	19
骨折非観血的整復術（手）	16
骨折非観血的整復術（下腿）	16
骨折非観血的整復術（鎖骨）	10
骨折非観血的整復術（大腿）	8
骨折非観血的整復術（足、その他）	8
骨折非観血的整復術（膝蓋骨）	2
骨折非観血的整復術（肩甲骨）	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指（手、足））	18
骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	13
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	7
骨折経皮的鋼線刺入固定術（上腕）	6
骨折経皮的鋼線刺入固定術（足）	3
骨折観血的手術（大腿）	245
骨折観血的手術（下腿）	76
骨折観血的手術（前腕）	73
骨折観血的手術（上腕）	31
骨折観血的手術（鎖骨）	22
骨折観血的手術（膝蓋骨）	11
骨折観血的手術（足）	10
骨折観血的手術（指（手、足））	6
骨折観血的手術（手舟状骨）	2
骨折観血的手術（手（舟状骨を除く））	1
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（大腿）	6
一時的創外固定骨折治療術	13
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	8
超音波骨折治療法（一連につき）	8
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	56
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	35
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	30
骨内異物（挿入物）除去術（足）	12
骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	12

糖尿病・内分泌内科
呼吸器内科
消化器内科
循環器内科
腎臓内科
血液・腫瘍内科
脳神経内科
総合診療科
外科
呼吸器外科
脳神経外科
整形外科
形成外科
心血管外科
泌尿器科
耳鼻咽喉科
小児科
皮膚科
眼科
産婦人科
歯科口腔外科
放射線科
病理診断科
麻酔科救急科



糖尿病・ 内分泌内科	骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	9	関節鏡下半月板切除術	11
	骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	4	関節鏡下半月板縫合術	5
呼吸器 内科	骨内異物（挿入物）除去術（手）	4	関節内骨折観血の手術（肘）	20
	骨部分切除術（膝蓋骨）	2	関節内骨折観血の手術（膝）	16
消化器 内科	骨部分切除術（大腿）	1	関節内骨折観血の手術（手）	15
	骨部分切除術（下腿）	1	関節内骨折観血の手術（足）	9
循環器 内科	腐骨摘出術（下腿）	1	関節内骨折観血の手術（指・手）	3
	骨全摘術（下腿）	1	関節内骨折観血の手術（股）	1
腎臓内科	骨切り術（下腿）	2	関節内骨折観血の手術（肩）	1
	脛骨近位骨切り術	1	関節鏡下関節内骨折観血の手術（膝）	1
血液・腫瘍 内科	偽関節手術（下腿）	5	関節鏡下関節内骨折観血の手術（足）	1
	偽関節手術（大腿）	4	関節鏡下関節内骨折観血の手術（肩）	1
脳神経 内科	偽関節手術（前腕）	1	靱帯断裂縫合術（その他の靱帯）	12
	偽関節手術（手舟状骨）	1	靱帯断裂縫合術（膝側副靱帯）	4
総合 診療科	変形治癒骨折矯正手術（足）	1	靱帯断裂縫合術（指（手，足））	2
	変形治癒骨折矯正手術（手）	1	観血的関節授動術（肘）	1
外科	骨移植術（自家骨移植）	32	観血的関節固定術（足）	1
	骨移植術（軟骨移植術を含む、同種骨移植、非生体、その他）	1	観血的関節固定術（指・手）	1
整形外科	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）	1	靱帯断裂形成手術（その他の靱帯）	1
	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肩）	1	関節鏡下靱帯断裂形成手術（十字靱帯）	1
形成外科	関節脱臼非観血的整復術（肩）	19	人工骨頭挿入術（股）	80
	関節脱臼非観血的整復術（股）	14	人工骨頭挿入術（肩）	1
心臓血管 外科	関節脱臼非観血的整復術（足）	5	人工関節置換術（膝）	26
	関節脱臼非観血的整復術（指・手）	5	人工関節置換術（股）	12
泌尿器科	関節脱臼非観血的整復術（肘）	4	人工距骨全置換術	1
	関節脱臼非観血的整復術（膝）	4	直達牽引（左下肢）	1
耳鼻 咽喉科	関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	1	四肢切断術（下腿）	4
	関節脱臼非観血的整復術（手）	1	四肢切断術（手）	1
小児科	関節脱臼非観血的整復術（指・足）	1	断端形成術（骨形成を要す）（手・指）	7
	関節脱臼非観血的整復術（胸鎖）	1	手根管開放手術	27
皮膚科	関節脱臼観血的整復術（肘）	1	手掌腱膜切離術（その他のもの）	1
	関節脱臼観血的整復術（指・足）	1	第一足指外反症矯正手術	2
眼科	関節脱臼観血的整復術（股）	1	寛骨臼骨折観血の手術	7
	関節脱臼観血的整復術（胸鎖）	1	骨盤骨折観血の手術（腸骨翼及び寛骨臼骨折観血の手術を除く）	4
産婦人科	関節内異物（挿入物を含む）除去術	1	脊椎内異物（挿入物）除去術	7
	関節内異物（挿入物を含む）除去術	1	後縦靱帯骨化症手術（前方進入）	1
歯科口腔 外科	関節滑膜切除術（膝）	1	椎間板摘出術（後方摘出術）	10
	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）	7	椎間板内酵素注入療法	3
放射線科	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）	6	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）	58
	関節鼠摘出手術（手）	1		

脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (後方又は後側方固定)	39
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (椎弓切除)	6
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (後方椎体固定)	2
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (前方椎体固定)	1
経皮的椎体形成術	4
経皮的脳血栓回収術	1
神経縫合術(指(手, 足))	3
神経剥離術(その他のもの)	1
脊髄腫瘍摘出術(髄外)	1
神経腫切除術(その他)	1
神経移行術	3
肋骨骨折観血的手術	1
体外ペースメーカー術	2
合計	1573

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

形成外科とは身体の組織の異常や変形、欠損、整容的な不満足に対して、様々な手法や特殊技術を駆使し、機能と形態をより正常により美しくすることで“Quality of Life”を向上させる、外科専門領域です。当科では日帰り可能な局所麻酔手術から入院が必要な全身麻酔手術まで対応しております。

北海道道北地域では形成外科のある病院が少なく、他市町村からも多くの患者様をご紹介いただいております。

主な対象疾患

- 外傷（擦り傷、切り傷、皮膚欠損など）
- 熱傷・凍傷・化学損傷（薬品や化学物質などによる損傷）
- 顔面の骨折・変形
- 眼瞼（まぶた）の治療（眼瞼下垂、睫毛内反症・外反症）
- 先天疾患（手足、耳、へそ、まぶたなど）
- 皮膚・皮下組織を中心とした良性・悪性腫瘍
- 腫瘍切除後の組織再建
- 乳房再建
- 瘢痕（きずあと）、ケロイド、瘢痕拘縮（ひきつれ）
- 褥瘡（とこずれ）、難治性皮膚潰瘍
- その他（リンパ浮腫、腋臭症・多汗症）

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
なかぎり しょうこ 中桐 僚子 部長	専門分野： 形成外科(一般形成、乳房再建) 医学博士 日本形成外科学会専門医・指導医 再建・マイクロサージャリー分野指導医 日本熱傷学会専門医 乳房再建用エキスパンダー・インプラント 責任医師
たなか 田中 あかね 医師	専門分野： 形成外科

診療予定表

初診（8：00～11：00）

月	火	水	木	金
中桐	休診	中桐	休診	中桐
-		田中		田中

診療実績（2025年1月～12月）

項目	患者数
外来新患者	614
外来延数	4,813
新入院数	244

主な手術実績（2025年1月～12月）

	2025年	2024年	2023年
I.外傷 (熱傷・凍傷・電撃傷含む)	172	242	223
II.先天異常	9	10	18
III.腫瘍 (母斑、血管腫等含む)	293	366	407
IV.瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	35	31	35
V.難治性潰瘍 (褥瘡、壊死等含む)	152	163	164
VI.炎症・変性疾患 (眼瞼内反含む)	50	68	135
VII.美容	0	0	0
VIII.その他 (眼瞼下垂(外傷・先天性・腫瘍が原因以外))	81	88	138
Extra レーザー治療	30	44	32
合計	822	1,012	1,152

眼瞼下垂症・内反症治療の紹介

眼瞼下垂症はまぶたが下がって見えにくくなる病気です。当科では眼瞼下垂症に対して病態に応じた術式で手術を行っています。

先天性のものやコンタクトレンズなどが原因のものが多いですが、特に加齢性変化によるものが多く、老化とあきらめてしまっている患者様もいます。多くの患者様に眼瞼下垂症は手術で改善することを知っていただくためにポスターも作成しております。

また、眼瞼疾患として眼瞼内反症も多く、その修正手術も行っております。内反症により睫毛が眼球に当たるため、定期的に抜毛をされている患者様も多く、手術で改善するため喜んでいただけることが多いです。

眼瞼下垂症

視界が狭くないですか？

眼瞼下垂症はうわまぶたが下がって開けにくくなる病気です。加齢、コンタクトレンズの長期使用、先天性のものなど原因はさまざまです。眼瞼下垂症のために肩こりや頭痛が起こることもあります。



眼瞼下垂症は手術で改善します。(保険適用)
気になっている方はご相談ください。

旭川赤十字病院 形成外科
(0166)22-8111

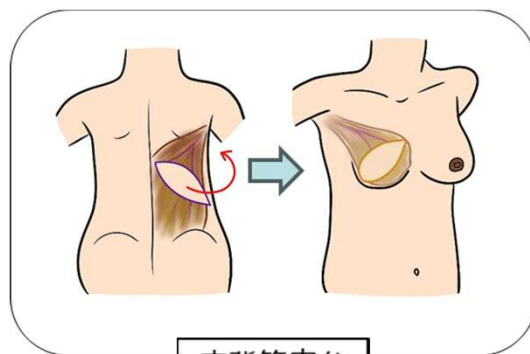
乳房再健の紹介

乳癌などで乳房切除の手術をされた方に対して乳房再建手術を行っています。再建方法は、人工物再建と自家組織再建のどちらも可能です。自家組織再建では遊離皮弁による再建も行っており、患者様のご希望にあった手術を行うことができます。

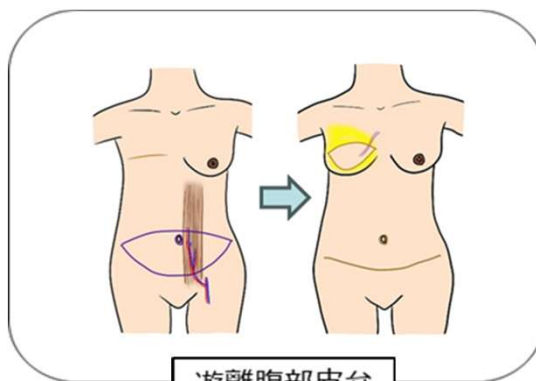
当院では病状によっては、外科の切除時に同時に再建手術をする一次再建も可能です。



乳房インプラント



広背筋皮弁



遊離腹部皮弁

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・ 内分泌内科
呼吸器 内科
消化器 内科
循環器 内科
腎臓内科
血液・腫瘍 内科
脳神経 内科
総合 診療科
外科
呼吸器 外科
脳神経 外科
整形外科
形成外科
心血管 外科
泌尿器科
耳鼻 咽喉科
小児科
皮膚科
眼科
産婦人科
歯科口腔 外科
放射線科
病理 診断科
麻酔科 救急科

レーザー治療の紹介

◆ Qスイッチ・ルビーレーザー

- ・シミ・アザに効果的。正常の組織へのダメージを抑えながらメラニン色素を破壊する機器です。
- ・治療後も洗顔、お化粧は可能です。



◆ 炭酸ガスレーザー

- ・隆起型のほくろやイボの治療に効果的です。
- ・熱で瞬間的に蒸散し皮膚を削り腫瘍を除去する機器です。



ドクターズコスメの紹介

◆ NAVISION DR (ナビジョンディーアル)

- ・資生堂と岩城製薬が医療機関向けに開発したスキンケアブランドです。
- ・老若男女問わず、デリケートな肌にも安心してお使いいただけるシリーズです。
- ・当院スタッフも愛用しています。

<シリーズの紹介>

- ・美白有効成分配合の化粧水
- ・抗酸化成分を配合した乳液
- ・肌の透明感・シワ面積改善マルチクリーム
- ・高いUV機能を持った日焼け止め
- ・スキンケア成分配合のファンデーション
- ・女性でも使用可能な育毛剤
- ・まぶたのしわやくすみ対策のアイケアセット
(医療機関のみで販売可能)



診療科の概要

当科は成人の心臓大血管疾患・末梢動静脈疾患の診療にあたっています。救命救急センターを標榜する病院の心臓血管外科であるため、急性大動脈解離、急性冠疾患、大動脈破裂、急性上肢・下肢動脈閉塞などは緊急手術を行います。2025年4月より診療体制が変わり医師の交代もありましたが医療の質を保てるように、安心・安全に重きを置いて全力で取り組んでいます。どの疾患においても、患者さま個人個人に合った治療方法を選択し、ステントグラフトやカテーテル治療などの低侵襲治療も積極的に取り入れていきたいと考えています。一方で大きな手術をしなくてはならない場合も、可能な限り安全な手法で行います。

主な対象疾患

成人心疾患：虚血性心疾患、弁膜症、肺動脈血栓症

成人大血管：急性大動脈解離、胸部大動脈瘤、
腹部大動脈瘤

末消血管：末梢動脈疾患、静脈瘤などの静脈疾患、
静脈血栓症

その他：不整脈手術

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
つつい まさひろ 筒井 真博 部 長	外科専門医
	心臓血管外科専門医
	日本血管外科学会評議員
	循環器専門医
	脈管専門医
	胸部大動脈ステントグラフト指導医
	腹部大動脈ステントグラフト指導医
いしどう こうへい 石堂 耕平 医 師	下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医
	心臓血管外科修練指導医
	浅大腿動脈ステントグラフト実施医
いのうえ あき と 井上 陽斗 医 師	専門分野： 心臓・大血管分野
	外科専門医 心臓血管外科専門医

診療時間

(初診8:00~11:30)

月	火	水	木	金
休 診	筒井 井上	休 診	筒井 石堂	石堂 井上

診療部長よりひとこと

医療の進歩とともに心臓血管外科手術の成績は向上しており、昔ほどの「心臓の手術は命懸け」という側面は少なくなったと思いますが、やはりそれでもイメージ通り人生の大きなイベントとなります。そのようなイベントを安心して乗り越えられるように私たちが安全に治療をさせていただきます。2025年度より診療体制の変更により診療を担当する医師が大きく入れ替わりましたが、いずれもしっかり修練された経験豊富な医師ですのでご安心ください。全力で治療にあたらせて頂きます。

診療実績 2025年（1月～12月）

項目	患者数
外来新患者数	286
外来延数	3,655
新入院数	299

手術実績 2025年（1月～12月）

項目	件数
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm未満）	3
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径10cm以上）（その他）	2
皮膚切開（長径10cm未満）	1
デブリードマン（100cm ² 未満）	1
筋膜切開術	1
脊髄ドレナージ術	1
胸腔鏡下交感神経節切除術（両側）	1
胸腔内（胸膜内）血腫除去術	2

糖 尿 病・
内分泌内科

呼 吸 器
内 科

消 化 器
内 科

循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科

脳 神 經
内 科

総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科

脳 神 經
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科

麻 酔 科
救 急 科

糖尿病・ 内分泌内科
呼吸器 内科
消化器 内科
循環器 内科
腎臓内科
血液・腫瘍 内科
脳神経 内科
総合 診療科
外科
呼吸器 外科
脳神経 外科
整形外科
形成外科
心臓血管 外科
泌尿器科
耳鼻 咽喉科
小児科
皮膚科
眼科
産婦人科
歯科口腔 外科
放射線科
病理 診断科
麻酔科 救急科

心膜切開術	1
試験開心術	1
心腔内異物除去術	1
心腫瘍摘出術（単独）（その他）	1
冠動脈バイパス移植術（2吻合以上）	7
冠動脈バイパス移植術（1吻合）	3
弁形成術（1弁のもの）	3
弁置換術（1弁のもの）	6
大動脈瘤切除術（腹部大動脈・分枝血管 の再建を伴うもの）	2
大動脈瘤切除術（腹部大動脈・その他の もの）	2
大動脈瘤切除術（上行大動脈・その他の もの）	2
大動脈瘤切除術（上行大動脈及び弓部大 動脈の同時手術・その他のもの）	1
大動脈瘤切除術（上行大動脈・人工弁置 換術を伴う大動脈基部置換術）	1
大動脈瘤切除術（上行及び弓部同時手 術・大動脈弁置換又は形成術を伴う）	1
大動脈瘤切除術（弓部大動脈）	1
オープン型ステントグラフト内挿術（上 行・弓部同時、その他）	3
ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）	15
ステントグラフト内挿術（腸骨動脈）	15
ステントグラフト内挿術（胸部大動脈）	9
不整脈手術（左心耳閉鎖術）（開胸手術 によるもの）	4
不整脈手術（メイズ手術）	2
体外ペースメーカー術	34
大動脈バルーンパンピング法（初日）	11
大動脈バルーンパンピング法（2日目以 降）	5
人工心肺（初日）	22
経皮的な心肺補助法（初日）	1
経皮的な心肺補助法（2日目以降）	1
血管露出術	1
血管結紮術（その他）	4
血管結紮術（開腹）	2
上腕動脈表在化法	2
動脈塞栓除去術（その他）（観血的）	7

内シャント血栓除去術	14
動脈血栓内膜摘出術（その他）	2
動脈形成術（指（手、足）の動脈）	1
動脈形成術（その他の動脈）	1
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設 術）（単純なもの）	21
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設 術）（静脈転位を伴うもの）	2
末梢動静脈瘻造設術（その他のもの）	1
腎血管性高血圧症手術（経皮的腎血管拡 張術）	1
血管移植術（その他の動脈）	5
バイパス移植術（その他の動脈）	4
バイパス移植術（頸部動脈）	1
バイパス移植術（大動脈）	1
血管塞栓術（腹腔内血管等）（その他の もの）	14
血管塞栓術（胸腔）（その他のもの）	1
四肢の血管拡張術	34
四肢の血栓除去術	9
経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初 回）	88
経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初 回の実施後3月以内に実施する場合）	55
経皮的な下肢動脈形成術	2
下肢静脈瘤手術（抜去切除術）	1
下肢静脈瘤手術（高位結紮術）	1
中心静脈注射用植込型カテーテル設置 （頭頸部その他）	3
下大静脈フィルター留置術	5
下大静脈フィルター除去術	3
静脈形成術（その他の静脈）	1
合計	456

診療科の概要・対象疾患

泌尿器科では、泌尿器癌、前立腺肥大症や過活動膀胱といった排尿障害、腎結石、尿管結石、膀胱結石といった尿路結石、尿路性器感染症などを扱っています。

・泌尿器癌には膀胱癌、前立腺癌、腎盂・尿管癌、腎癌、精巣腫瘍、陰茎癌などがあり、それぞれの疾患について診断から治療まで、各種ガイドラインに基づいた標準の治療を行うことを心がけています。前立腺癌に対する前立腺全摘除術、腎癌に対する腎部分切除術、腎盂・尿管癌に対する腎尿管全摘除術、膀胱癌に対する膀胱全摘除術は、ダヴィンチを用いたロボット支援手術で行っています。腎癌に対する腎摘除術は主に腹腔鏡手術で行っています。

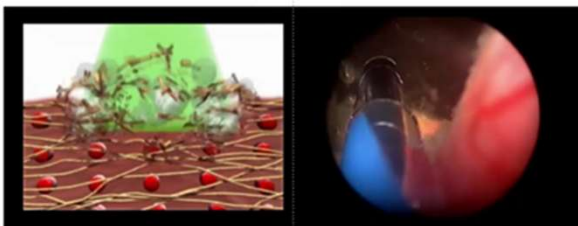
・膀胱全摘除術で尿路変更を行った方には、皮膚・排泄ケア認定看護師と協力してストーマケアをサポートしています。

・転移がある腎癌、膀胱癌、腎盂・尿管癌に対しては、抗癌剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による治療を行っています。

・リスクの高い前立腺癌に対しては、新規のホルモン治療薬や抗癌剤による治療を行っています。

・前立腺肥大症に対しては、低侵襲で合併症の少ない治療法である「経尿道的光選択的前立腺レーザー蒸散術(PVP)」と「経尿道的水蒸気治療(WAVE)」を行っています。高齢の方や手術リスクの高い合併症をお持ちの方も治療することができ、その治療効果は従来の経尿道的前立腺切除術と遜色ありません。

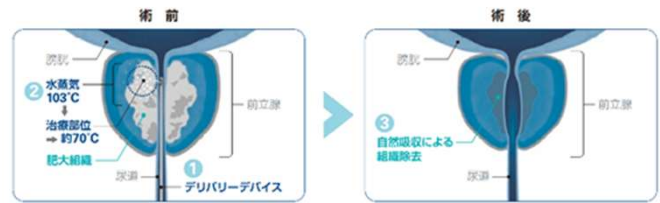
グリーンライトレーザを用いたPVPでは、特殊な波長の高出力レーザを用います。このレーザは特に赤い色に吸収されやすい性質を持つため、血流の豊富な前立腺組織を効率的に蒸散させる(気化させて除去)ことができます。



・尿路結石に対しては、レーザーと軟性腎盂尿管鏡を用いた経尿道的手術や、経皮的手術と経尿道的手術を同時に行う手術で、最終的に結石をゼロにすることを目標に治療しています。

・尿路性器感染症は、外来で治療する膀胱炎や入院治療の必要な急性腎盂腎炎、急性前立腺炎などに対して、血液培養や尿培養による起因菌の同定と適切な抗菌薬使用を心がけています。

WAVE治療の流れ



©2024 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are property of their respective owners.

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ほった ひろし 堀田 裕 院長補佐 部長	専門分野： 泌尿器感染症、泌尿器癌 医学博士 日本泌尿器科学会認定専門医・指導医 インфекションコントロールドクター (ICD) 日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医 日本感染症学会認定感染症指導医 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医
みやもと しんたろう 宮本 慎太郎 部長	専門分野： 泌尿器科全般・腹腔鏡・ロボット支援手術 日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 da Vinci Surgical System Certificate ドクター (泌尿器科ロボット支援手術) 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医 (手術指導医)
なかじま ゆうすけ 中島 佑輔 医師	専門分野： 泌尿器科一般 日本泌尿器科学会専門医 da Vinci Surgical System Certificate ドクター

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

やまぐち たいぞう 山口 泰蔵 医 師	専門分野：泌尿器科
---------------------------	-----------

診療予定表

(午前8:00～11:00)

	月	火	水	木	金
午前	堀田	宮本	堀田	宮本	中島
午後	入院患者 診療	手術	手術	入院患者 診療	手術

診療実績 (2025年1～12月)

項目	患者数
外来新患数	576
外来延数	8,105
新入院数	832

主な手術実績 (2025年1～12月)

副腎摘除術	3 (うち腹腔鏡下手術2)
根治的前立腺摘除術	36 (うちロボット支援手術36)
根治的膀胱摘除術	10 (うちロボット支援手術10)
根治的腎摘除術	13 (うちロボット支援手術4、 腹腔鏡下手術9)
腎部分切除術	12 (うちロボット支援手術11)
根治的腎尿管摘除術	19 (うちロボット支援手術17、 腹腔鏡下手術2)
経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT)	98
経尿道的腎尿管碎石術 (TUL)	134
経皮的腎碎石術 (PNL)	1
経皮的経尿道的同時碎石術 (ECIRS)	13
経尿道的膀胱碎石術	23
経尿道的前立腺切除術	3
経尿道的光選択的前立腺レー ザー蒸散術	28
経尿道的前立腺水蒸気治療	0
経直腸的前立腺針生検	140
除睾術	10
経尿道的尿管ステント留置術	145
その他	83
合計	771

診療部長よりひとこと

泌尿器癌に対するロボット支援手術、前立腺肥大症に対するレーザー治療など、より低侵襲の治療法を行うことで、入院期間を短くして退院後も入院前と同じ生活が送れるようになってきました。治療後の通院をかかりつけ医にお願いすることで、病院と診療所の役割分担を進めています。

診療科の概要

- ◎ 聴力改善手術を行っています。
- ◎ 突発性難聴に対する音楽療法を行っています。
- ◎ めまいに対する集団リハビリ治療を行っています。
- ◎ 難治性の鼻中隔彎曲症に対する外鼻形成術を行っています。
- ◎ 経鼻内視鏡を利用した頭蓋底手術を行っています。
- ◎ 内視鏡補助下甲状腺手術を行っています。
- ◎ 顔面神経麻痺に対する急性期リハビリを行っています。
- ◎ 顔面神経麻痺後遺症に対する、ボツリヌス毒素・ミラーバイオフィードバック併用療法を行っています。
- ◎ 音声外科手術を行っています。
- ◎ 嚥下機能改善手術・誤嚥防止手術を行っています。

主な対象疾患

A. 耳・めまいの治療

1. 聴力改善手術
2. 難治性中耳炎に対する手術
3. 鼓膜再生療法による鼓膜穿孔閉鎖処置
4. 突発性難聴に対する音楽療法
5. めまいに対する外来リハビリ治療
(慢性難治性めまい患者に対する外来集団リハビリ)

B. 鼻の治療

1. 内視鏡下副鼻腔手術 (ESS)
2. 鼻閉改善手術・アレルギー手術
3. 鼻手術に伴う術後の苦痛回避の工夫
4. 脳神経外科と協力した経鼻内視鏡下頭蓋底手術

C. 頭頸部腫瘍

1. 甲状腺腫瘍穿刺吸引細胞診
2. 甲状腺悪性腫瘍手術
3. Facelift切開による耳下腺手術

D. 顔面神経麻痺

1. 顔面神経減荷術
2. 顔面神経麻痺に対するリハビリテーション
3. ボツリヌス毒素・ミラーバイオフィードバック併用療法

E. 顔面外傷

1. 吸収型プレートによる顔面骨整復術
2. 内視鏡による眼窩吹き抜け骨折整復術

F. 音声改善手術

1. 喉頭微細手術 (ラリノマイクログャリー)
2. 甲状軟骨形成術・披裂軟骨内転術
3. けいれん性発声障害に対するボツリヌストキシン療法
4. けいれん性発声障害に対する手術治療

G. 嚥下障害に対する手術

1. 嚥下機能改善手術
2. 誤嚥防止手術

手術実績 2025年度

(2025年4月～2026年3月)

手術内訳	件数
耳科手術	
鼓室形成術	31
乳突削開術	15
鼓膜チューブ挿入術	29
顔面神経減荷術	3
先天性耳瘻管摘出術	1
鼓膜穿孔閉鎖術 (一連につき)	3
鼻科手術	
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	91
内視鏡下鼻中隔手術	96
内視鏡下鼻腔手術	95
上顎・顔面骨折整復術	6
鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術	6
鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術	1
口腔咽喉頭手術	
扁桃摘出術	87
アデノイド切除術	16
舌・口腔良性腫瘍摘出術	1
咽頭良性腫瘍摘出術	1
甲状舌管嚢胞摘出術	2
喉頭微細手術	11
嚥下機能改善、誤嚥防止、音声機能改善手術	30
頸部手術	
頸部郭清術	3
顎下腺良性腫瘍摘出術	1
耳下腺良性腫瘍摘出術	9
甲状腺良性腫瘍摘出術	15
甲状腺悪性腫瘍摘出術	14
副甲状腺腺腫過形成手術	5
リンパ節生検	24
頸部嚢胞摘出術	2
異物摘出術 (外耳・鼻腔・咽頭)	9
気管切開術	36
総計	643

糖尿病・
内分泌科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
かただ あきひろ 片田 彰博 副院長 部長	専門分野 ：聴力改善手術、遺伝性難聴、 鼻科手術、音声外科手術、 嚥下機能改善手術 博士（医学） 耳鼻咽喉科専門医 耳鼻咽喉科専門研修指導医 補聴器相談医 耳科手術暫定指導医 鼻科手術暫定指導医 気管食道科専門医 臨床遺伝専門医 嚥下相談医 音声言語認定医 臨床研修指導医 補聴器適合判定医師 騒音性難聴担当医 旭川医科大学臨床指導教授 旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科非常勤医師
ながみね まさよし 長峯 正泰 部長	専門分野 ：難聴・めまい、顔面神経麻痺治療 医学博士（旭川医科大学2000年） 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本めまい平衡医学会認定めまい相談医 日本顔面神経学会認定顔面神経麻痺相談医 補聴器適合判定医 補聴器相談医

たかばやし こうすけ
高林 宏輔

副部長

専門分野：眼窩ふきぬけ骨折手術、内視

鏡下鼻副鼻腔手術、内視鏡下拡大

副鼻腔手術、内視鏡下下垂体

手術、顔面外傷手術、甲状腺

内視鏡手術

日本耳鼻咽喉科学会専門医

補聴器相談医

耳鼻咽喉科専門研修指導医

鼻科手術暫定指導医

Sigma Xi（米国科学研究名誉協会）正会員

札幌医科大学耳鼻科臨床准教授

札幌医科大学耳鼻科客員臨床医師

はた かいと
秦 海人

医師

耳鼻咽喉科頭頸部外科専攻医

診療予定表

（初診 午前8:00～11:00）

	月	火	水	木	金
新患	長峯	片田	休診	高林	秦
再診1	片田	長峯	高林	片田	高林
再診2	秦	高林・秦	-	秦	長峯

診療実績（2025年1～12月）

項目	外来新患数
外来新患数	1,061
外来延数	8,986
新入院数	602

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

旭川市の基幹病院として、小児の救急を含む地域医療を担うとともに、日本小児科学会専門医3名の常勤医により小児のアレルギー疾患、成長障害、思春期発来異常を含めた内分泌疾患、肥満、糖尿病、発達障害、心理疾患、てんかんに対する医療を提供しています。

主な対象疾患

【食物アレルギー】

診断と除去食解除のための食物経口負荷試験を1年あたり100例以上実施しています。食物アレルギーでお困りの方や「とりあえずやめておく」と指導されている患者様は、ご相談ください。

【気管支喘息・長引く咳】

呼気一酸化窒素（FeNO）の測定、呼吸機能検査（スパイロ）、呼吸抵抗測定検査（モストグラフ）等による客観的な評価により、診断および治療効果の判定を行います。

【低身長・成長障害】

小児の成長障害や低身長の原因には多くの因子が関与しますが、その一つとして内分泌疾患があります。様々なホルモンや成長因子の異常による内分泌疾患を診療対象としています。乳幼児健診、学校健診、かかりつけ医からの紹介等で受診される場合には、母子手帳、幼稚園・保育園や学校の成長記録をご持参ください。

【思春期発来異常】 【その他の内分泌疾患】 【カルシウム・ビタミンD関連疾患】 【肥満、糖尿病、生活習慣病】

【発達障害】

小児神経科専門医が、発達の遅れ、自閉性スペクトラム障害、ADHD、学習障害などの発達の問題に対し、臨床心理士による各種発達知能検査を参考にしながら診断、治療を行っています。

【心理疾患】

登校しぶり、不登校など心理的な問題を抱えている子ども達に、子どものこころ相談医、子どものこころ専門医、日本小児精神神経学会認定医が臨床心理士とともに診療し、必要に応じて心理カウンセリングも実施しています。

【てんかん】

日本てんかん学会臨床専門医・指導医が、小児のけいれん性疾患やてんかんに対して、脳波や頭部画像検査などによる検査をもとに診断し、その子に適した治療法を提供しています。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
もりた けいすけ 森田 啓介 部長	専門分野：小児科一般、小児感染症、小児アレルギー 医学博士 日本小児科学会専門医 日本小児科学会認定指導医
むかい とくお 向井 徳男 部長	専門分野：小児科一般、小児内分泌・代謝、成長障害、小児肥満 医学博士 日本小児学会専門医・指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科（小児科）専門医・指導医
すわ きよたか 諏訪 清隆 部長	専門分野：小児科一般、小児神経、小児てんかん、小児発達、小児心身症 医学博士 小児科専門医 認定小児科指導医 小児神経科専門医 日本てんかん学会臨床専門医 日本てんかん学会指導医 臨床遺伝専門医 日本小児精神神経学会認定医 子どもの心相談医 地域総合小児医療認定医 子どものこころ専門医 子どもとメディア認定インストラクター 日本小児科医会 子どもとメディア委員会委員 北海道小児科医会 常任理事 子どものための心理的応急処置 一日研修修了

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療実績（2025年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	657
外来延数	3,566
新入院数	177

診療予定表

(受付：8:00～11:30 13:30～15:00)

	月	火	水	木	金
午前	向井	諏訪/森田	諏訪/森田	諏訪	向井
午後	諏訪	森田	諏訪	向井	森田

- * 一般外来は予約不要ですが、各専門外来、予防接種、乳児健診は
午後の受付時間は、13時30分～15時
- * 予防接種（一般外来担当医が診察）月曜日 9時～11時、
火曜日～金曜日 9時～11時、 13時30分～15時
- * 乳児健診 月曜日～金 13時30分～14時

診療部長よりひとこと

小児科医3名が協力して診療にあたっています。先にあげた対象疾患に加え、感染症や小児救急などにも対応いたしますのでお気軽にご相談ください。地域医療を支えている先生に信頼のおける十分な医療ができるように頑張ります。

診療科の概要

皮膚科は、昭和32年12月に皮膚泌尿器科として開設され昭和37年8月に独立、その後平成16年3月まで続きましたが、同年4月から平成22年9月まで閉鎖されておりました。しかしながら平成22年10月、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医が就任となり、診療が再開されました。平成23年6月から皮膚科専門医研修施設として機能しています。

市内の開業医療機関、旭川医科大学皮膚科と連携し、情報交換を行いながら質の高い医療提供に努めている他、市外医療機関からの診療依頼も積極的に受け入れています。

当科は、急性期医療を担う機関の一員としてその役割を担い、重症薬疹、皮膚軟部組織感染症（壊死性）、外傷、熱傷などを他科とも連携しながら対処しています。また、日本皮膚科学会から分子標的薬使用承認施設に認定されており、適応（下記）のある患者さまに必要なに応じて導入を行っています。さらに、弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターの認定を受けたスタッフが外来に揃っていますので、静脈・リンパ循環障害による皮膚疾患にも積極的に対応しています。

道北医療圏において、皮膚科重症患者への対応が可能な施設は限られています。当科スタッフはその使命を受けて、診療に取り組んでいます。

主な対象疾患

○全身症状（発熱、倦怠感、体重減少など）をとともなう皮膚疾患：膠原病、血管炎、悪性リンパ腫、感染症などが含まれます

○皮膚悪性・良性腫瘍：手術を主体に、炭酸ガスレーザーや外用薬なども使用した治療を行っています

○重症のアトピー性皮膚炎、乾癬、掌蹠膿疱症、壊疽性膿皮症、慢性膿皮症：分子標的薬の導入・維持に加え、慢性膿皮症については手術療法も実施している

○慢性皮膚潰瘍：ASO、静脈性潰瘍、糖尿病性潰瘍など

○带状疱疹：重症患者に対する入院治療、痛みの治療（神経ブロックを含めた麻酔科的な対応はしていません）、発症予防のためのワクチン接種（条件があるため、希望される患者さますべてが任意接種できるわけではありません）

治療方針

1. 患者個々の特性に合ったゴールを目指す
2. 患者個々の病態解明に努める
3. 根拠に基づいた治療を標準とする

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
きのうち もとし 木ノ内 基史	専門分野：皮膚科
院長補佐 部長	皮膚科専門医
さくら ひみか 櫻 日美花	専門分野：皮膚科
医師	

診療予定表

初診（8:00～11:30）

月	火	水	木	金
木ノ内	木ノ内	櫻	木ノ内	木ノ内
櫻	櫻			（櫻）

* 木曜日は手術のため、入院・外来の診察申込（紹介）はお控えください。（緊急時を除く）

診療実績（2025年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	628
外来延数	6,866
新入院数	99

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

主な手術実績

項目	件数
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径 5 cm未満）	18
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径 5 cm以上 10 cm未満）	17
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径 5 cm未満）	6
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径 5 cm以上 10 cm未満）	6
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径 10 cm以上）	5
小児創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径 2.5 cm以上 5 cm未満）	1
小児創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径 2.5 cm以上 5 cm未満）	1
皮膚切開（長径 10 cm未満）	72
皮膚切開（長径 10 cm以上 20 cm未満）	1
デブリードマン（100 cm ² 以上 3000 cm ² 未満）	20
デブリードマン（100 cm ² 未満）	18
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm未満）	14
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm以上 4 cm未満）	3
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径 4 cm以上）（6歳以上）	2
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm以上 4 cm未満）	1
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm未満）	9
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm以上 6 cm未満）	9
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6 cm以上 12 cm未満）（6歳以上）	6

皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm以上 6 cm未満）	2
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6 cm以上 12 cm未満）（6歳以上）	1
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 12 cm以上）（6歳以上）	1
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	14
分層植皮術（25 cm ² 未満）	2
分層植皮術（25 cm ² 以上 100 cm ² 未満）	2
分層植皮術（100 cm ² 以上 200 cm ² 未満）	2
分層植皮術（200 cm ² 以上）	1
皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術（25 cm ² 未満）	3
慢性膿皮症手術（複雑）	2
骨折非観血的整復術（鎖骨）	1
四肢関節離断術（指・足）	2
断端形成術（軟部形成のみ）（足・指）	1
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	4
断端形成術（骨形成を要す）（手・指）	1
手掌異物摘出術	1
リンパ節摘出術（長径 3 cm以上）	1
毛巣洞手術	5
合計	255

診療科の概要

当科では眼科全般の診療を行っていますが、その中心は白内障などの手術で、手術の多くを入院診療で行っています。白内障手術は難症例を中心に行っています。水晶体脱臼、眼内レンズ脱臼に対する眼内レンズの強膜内固定も行っています。加齢黄斑変性や糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症などに対する抗VEGF薬硝子体注射治療は外来診療で行っています。当院の特徴は地域医療支援（急性期医療担当）と救命救急医療ですので、頭部・顔面外傷などの救命救急医療における眼科診療も重点のひとつです。眼科的救急疾患や全身疾患に関連する眼科診療にも即時対応しています。脳神経内科、脳神経外科、放射線科の協力のもと、神経眼科疾患の診療も行っています。なお、光線力学的療法、角膜移植手術・屈折矯正手術、多焦点眼内レンズ手術、コンタクトレンズの処方はありません。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
かたおか のぶや 片岡 信也 部長	専門分野：糖尿病網膜症の診断・治療 白内障手術、眼窩脂肪ヘルニア手術 日本眼科学会専門医
みやもと みほ 宮本 美帆 医師	専門分野：白内障手術
おおた いさお 太田 勲男 医師	専門分野：白内障手術、網膜硝子体 医学博士 日本眼科学会専門医 眼科PDT認定医 神経眼科上級相談医

診療実績（2025年1～12月）

項目	患者数
外来新患数	350
外来延数	6,593
新入院数	223

主な対象疾患

白内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、神経眼科

主な手術実績

（2025年4月～2026年3月）

項目	件数
白内障手術	326
硝子体手術	9
網膜剥離手術	0
緑内障手術	5
その他	10
合計	350

診療予定表

（初診：午前8:00～11:00）

月	火	水	木	金
太田 ☆片岡 宮本	太田 片岡	※休診	太田 片岡 宮本	片岡

☆の医師は回診のため10：30以降不在となります。
※一般外来は休診

診療部長よりひとこと

道北地方の眼科拠点のひとつとして、その使命を果たすよう努力してまいります。何卒ご協力をお願い申し上げます。

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療科の概要

現在、嘱託医2名で外来診療のみ行っております。
対象は婦人科全般ですが、手術・入院症例には対応
しておりません。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
たまた けんいち 玉手 健一 医師	専門分野： 不妊症、婦人科悪性腫瘍手術、 化学療法、婦人科内視鏡手術、 産婦人科内分泌医療、産科全般 日本母体保護法指定医 医学博士 ベストドクターズ
よしだ としあき 吉田 俊明 医師	専門分野： 産婦人科

診療予定表

(午前8:00～11:00 月～木曜日13:30～15:00)

	月	火	水	木	金
午前	玉手	玉手	玉手	玉手	玉手
	吉田/出張医	吉田	吉田	吉田	-
午後	担当医	担当医	担当医	担当医	-

※金曜日は午後休診

※POP外来は予約制

主な対象疾患

月経困難症、月経不順、更年期障害、骨盤臓器脱な
ど一般婦人科疾患

POP外来（骨盤臓器脱）

毎週月～木曜日 14:00～16:00（自由診療・完全予約制）

- ・一般外来受診日には混合診療となるので受けられません。
- ・詳細は病院ホームページ、診療科案内をご参照ください。

産後サポート・助産師外来

母乳外来 (要予約)	平日（14時～16時） 料金 1回 2,200円（税込） *処方薬必要時は別途 内容 乳房マッサージ、 乳腺炎疑い・授乳相談など
産後ケア 【日帰り型】 (要予約)	対象 産後1年未満の母子 内容 お母さんの体力回復支援、 授乳相談、育児相談など *詳細は病院ホームページ診療科 案内をご参照ください
更年期相談外来 (要予約)	平日（14時～16時） *詳細は病院ホームページ診療科 案内をご参照ください

問い合わせ先：産婦人科外来

22-8111 9:00～16:00

診療科の概要

当科は地元歯科医師会との役割分担を明確にし、基本的には一般歯科治療(むし歯や歯周病の治療、義歯の作製など)は治療が必要である入院患者のみとし、歯科ならびに内科の診療所などからの紹介患者を中心に診療し、病診連携を強め、地域の歯科医療機関との共存共栄を目指しています。

診療内容は親知らずの抜歯をはじめ、顎変形症、顎顔面外傷、口腔の良性・悪性腫瘍、嚢胞、感染症、唾液腺疾患、顎関節疾患などの口腔外科的疾患を幅広く行っています。

2012年度からチーム医療の推進の一環として周術期の口腔機能管理が導入されました。当院でもSCU入室患者の口腔ケア、脳神経外科、外科、心臓血管外科の手術前の口腔ケア、化学療法を行っている患者の口腔ケアを行っております。

主な対象疾患

口腔腫瘍、顎変形症、顎顔面外傷、口腔粘膜疾患、埋伏智歯、炎症性疾患など

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
おかだ ますひこ 岡田 益彦 部長	専門分野：口腔外科全般 日本口腔外科学会専門医・指導医 日本口腔科学会認定医・指導医 臨床研修指導歯科医 日本口腔ケア学会3級認定 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本顎変形症学会認定証
かわばた まこ 川端 麻瑚 医師	専門分野：口腔外科
たけじ りょうすけ 竹治 凌佑 医師	専門分野：歯科口腔外科

診療予定表

(初診 8:00~11:00)

月	火	水	木	金
岡田・竹治・川端				

※木曜日、金曜日は手術のため入院患者さまの診察申込はお控え下さい。(緊急時を除く)

診療部長よりひとこと

歯科口腔外科部長の岡田益彦です。私は旭川赤十字病院には3度目の赴任で、今回は2013年4月より勤務し、私が働き始めてトータルで一番在籍期間が長い病院になりました。

初代部長の池畑先生、前部長の嶋津先生は口腔外科のオールラウンダーで、目標の先生です。

偉大な先生方の後を継ぎ、当科を今までと変わらず、またさらに発展できるように今後も努力していきたいと思っております。

連携医療機関の皆様にはいつも大変お世話になっており、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



写真 歯科・口腔外科外来

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

診療実績(2025年1月～12月)

項目	患者数
外来新患数	3,035
外来延数	11,446
新入院数	361

手術実績(2025年1月～12月)

項目	患者数
外来手術件数	1,942
全身麻酔手術件数	299
主な手術実績	
上顎骨形成術	16
下顎骨形成術	43
顎骨骨折観血の手術	6
顎骨腫瘍摘出術	23
悪性腫瘍手術	24
再建術	3

写真 下顎前突症 術前

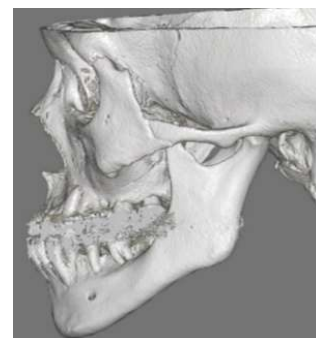
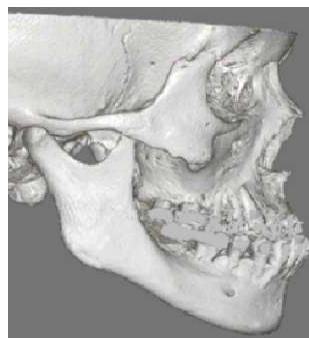


写真 上下顎骨形成 術後

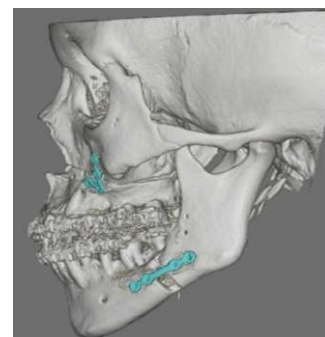
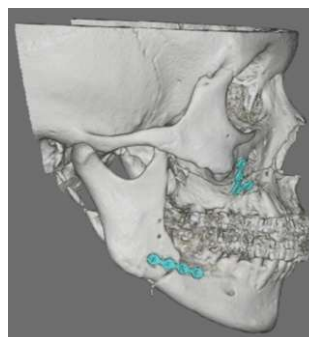


写真 進行した舌がん



舌の約1/2を切除



前腕皮弁で舌を再建

診療科の概要

当科は、2006年4月に新規診療科として開設されました。スタッフは3名であり、院内外の放射線画像診断、IVRを中心とした業務を行っております。

画像診断業務はCT、MRIを中心としており、一部、核医学、超音波検査も含んでおります。IVRは各診療科の依頼により腹部を中心とした血管造影、血管内治療、止血手技、CT/USガイド下穿刺、CVポート留置等を行っています。

画像診断領域における診断機器の進歩は極めて早く、ほぼ数年ごとのサイクルで、最新機器が出現していますが当院では、X線CT装置2台（320列MDCT、64列 dual energy CT）、MRI装置3台（1.5T、3T）、ガンマカメラ2台、血管造影装置2台、超音波検査装置4台、RIS、PACS、読影ビューワー等を完備しています。現時点で最先端の画像診断機器、読影環境が導入され、時代に先駆けた画像診断を行っております。

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ながさわ けんいち 長沢 研一 部長	専門分野 ：画像診断、IVR 日本専門医機構認定 放射線科専門医 日本医学放射線学会認定 放射線診断専門医 日本IVR学会認定 IVR専門医 放射線取扱主任者一種 放射線学会研修指導者
たかた ようこ 高田 陽子 副部長	専門分野 ：画像診断、IVR 日本専門医機構認定 放射線科専門医 日本医学放射線学会認定 放射線診断専門医 日本核医学会 核医学専門医 ・PET核医学認定医 放射線学会研修指導者
ふじや あつし 藤谷 淳 医師	専門分野 ：放射線診断・IVR

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
おばた まさひこ 小幡 雅彦 部長	専門分野 ：外科病理学、腫瘍病理学 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会認定細胞診専門医 医学博士 日本専門医機構認定病理専門医 日本臨床細胞学会教育研修指導医 日本バイオインフォマティクス学会 認定バイオインフォマティクス技術者
かみこくら ゆうき 上小倉 佑機 医師	専門分野 ：病理 病理専門医 細胞診専門医 分子病理専門医 死体解剖資格
ただ あきのり 多田 聡法 医師	専門分野 ：外科病理学

③ 提出方法

検体（10～20%ホルマリンに検体を入れた容器*注1）と病理組織診断申込書（ホームページよりダウンロード可能です）を、当院地域医療連携室へ発送しないし直接ご持参ください。

【発送先】〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1番1号 旭川赤十字病院 地域医療連携室

④ 報告日数および方法*注2

たいせつ安心i医療ネットでの閲覧の場合：3日*注3
郵送の場合：5日

*いずれも、検体当院受理後（土日祝日除く）。
最終的には全て紙の報告書を発送し、新規にカルテ作成された患者さまには診察券を発行致します。

⑤ 費用

各医療機関は、各月分を当院へお支払いいただきます。
*注4

注意事項

1. 病理組織診断は凍結された組織ではできません（冬期間の発送にはご注意ください）提出された検体は原則返却致しません。検体はパラフィンブロックにて、当院で永久保存いたします。
2. 免疫染色、脱脂処理、脱灰処理が必要な場合には、上記報告日数よりも時間を要します。
3. たいせつ安心i医療ネットの同意を得ている患者さまに限りです。
4. 診断を実施する上で、H E 染色および特殊染色以外に各種染色・免疫染色などが必要となった場合は、追加料金（免疫染色病理組織標本作製料および加算）が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

旭川赤十字病院 病理診断科 0166-22-0102（直通）

病理組織診断 受託のご紹介

地域医療施設の先生方の病理組織診断（標本作製から病理組織診断まで）を、平成27年1月5日依頼分より当院病理診断科にて受託する運びとなりましたので、ご紹介させていただきます。

当科は病理専門医2名を常勤とし、迅速かつ質の高い診断を心掛けております。また「たいせつ安心i医療ネット」に同意されている患者さまにとっては、郵送よりも早く結果の閲覧が可能というメリットもございます。ご検討くださいますようお願い申し上げます。

なお、現時点においては市内登録医限定とさせていただきます。また、患者さまからのセカンドオピニオン等の直接申し込み・持参は受け付けておりません。当院受診歴のない患者さまに関しては、手続き上新規にカルテ発行の必要があるため、当院診察券を結果報告書と共に発送致します。あらかじめご了承ください。

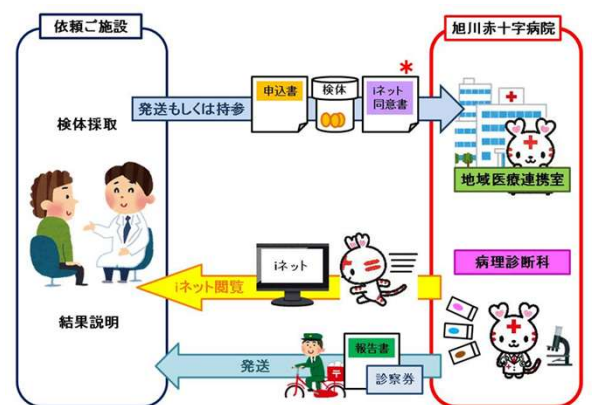
① 診断病理医（病理専門医）

小幡 雅彦

② 受託対象

生検材料を主に受託致します（2015.01現在、市内登録医限定とさせていただきます）

* それ以外の手術材料につきましてはご相談下さい。



* ネット同意書は、iネット結果閲覧希望の場合、必要となります。

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

医師紹介

麻酔科

医師名	専門分野/認定・専門等
あいもの まこ 四十物 摩呼 部長	専門分野：臨床麻酔 日本専門医機構認定麻酔科専門医 日本麻酔科学会認定麻酔科認定医・指導医 麻酔科標榜医
とびせ ふみのり 飛世 史則 部長	専門分野：臨床麻酔、集中治療 日本専門医機構認定麻酔科専門医 日本麻酔科学会認定麻酔科指導医 日本集中治療医学会集中治療専門医 麻酔科標榜医
なかじま ひろたか 中島 弘貴 副部長	専門分野：臨床麻酔 日本専門医機構認定麻酔科専門医 麻酔科標榜医
おおぬま ゆきよ 大沼 幸代 医師	専門分野：臨床麻酔 日本専門医機構認定麻酔科専門医 日本麻酔科学会認定麻酔科認定医・指導医 麻酔科標榜医
さいとう たいすけ 齊藤 太亮 医師	専門分野：臨床麻酔 麻酔科標榜医
おかだ ゆうき 岡田 侑樹 医師	専門分野：臨床麻酔 麻酔科標榜医
ちよう ちか 張 知佳 医師	専門分野：臨床麻酔 麻酔科標榜医
まつばら かんた 松原 寛太 医師	専門分野：臨床麻酔
おかざき かよこ 岡崎 加代子 医師	専門分野：臨床麻酔 日本専門医機構認定麻酔科専門医 日本麻酔科学会認定麻酔科認定医・指導医 麻酔科標榜医

救急科

医師名	専門分野/認定・専門等
かわた たいすけ 川田 大輔 部長 救命救急センター長 集中治療室責任者	専門分野：救急医学、集中医学、麻酔 日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 日本麻酔科学会専門医
わち しゅうたろう 和知 修太郎 副部長	専門分野：麻酔・救急 麻酔科専門医 北海道DMAT隊員 ICLSディレクター ACLSインストラクター JATECインストラクター 日本周術期経食道心工コー認定医
ちば りょう 千葉 凌 医師	専門分野：救急医学 MCLSインストラクター
やました まさひろし 山下 雅廣 医師	専門分野：救急科
たなか 田中 あかり 医師	
おやま たいが 小山 泰凱 医師	
こばやし いわお 小林 巖 医師	専門分野：救急・集中治療 日本麻酔科学会指導医 日本救急医学会専門医 麻酔科標榜医 日本集中治療学会専門医 札幌医科大学医学博士 ICLSコースディレクター 日本DMAT隊員 FCCSインストラクター MCLSインストラクター 病院総合医 産業医

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

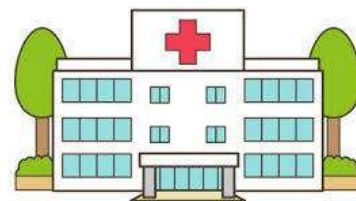
当院では、専任の医師によるホットラインを設置しております。
以下の場合にご利用ください。

医療機関様



- 救命救急ホットライン
- 脳卒中・脳疾患ホットライン
- 地域連携ホットライン
- 各診療科医師への電話

旭川赤十字病院



救命救急ホットライン 090-XXXX-XXXX

通信障害時（予備機）090-XXXX-XXXX

- 救命救急センター医が24時間対応いたします

脳卒中・脳疾患ホットライン 《24時間対応》

070-XXXX-XXXX

- 脳卒中では迅速な初期対応が重要です
- 疑い症例も含め、迷った場合も躊躇せずご利用ください
- すべて断ることなく、対応させていただきます

地域連携ホットライン 080-XXXX-XXXX

以下の場合にご利用ください。 《 対応時間 平日 8 : 30 ~ 17 : 00 》

- 救急ではないが、早く紹介したい

※救急を要する場合は救命救急ホットラインへお願いします

- どの診療科に紹介してよいかわからない
- その他（患者紹介のことで相談したい等）

- 各ホットラインは医師から医師への連絡を目的に設置しております。
患者さまにお知らせすることがないようご協力の程よろしくお願いいたします。

当院ではFAXとお電話にて外来診療予約を実施しています。

患者さんからのTEL予約を実施している診療科：耳鼻咽喉科・形成外科・呼吸器外科・皮膚科・歯科口腔外科（条件あり）
詳細は〇ページをご参照ください。

FAX予約の流れ

① 診療予約申込書に

必要事項をご記入ください。

※ホームページから
ダウンロードできます。



② 地域医療連携室まで

FAXをお願いいたします。

※診療情報提供書も
併せてFAX願います。



③ 日時が決定したら、地域

医療連携室より「受診日
程のご連絡」をFAX送信
いたします。



④ 診療情報提供書の原本を

患者様にお渡しの上、受
診当日にご持参ください。



FAX予約の注意事項

1. 受付時間

平日8:30～16:30（外来休診日を除く）

2. 予約調整にかかる時間

連携室へFAXが届いた時刻が
受付時間内（平日16:30まで）の場合：確認後15分程度
受付時間外の場合：次の受付時間が開始してから順番に調整

例：4/15（土）13:00にFAXを受領した場合
→4/17（月）8:30から順番に予約調整

下記の診療科は外来に確認してから予約日時が決まるため、
予約票のFAX送信までにお時間がかかります。
※翌日以降のお返事となる場合もあります。

呼吸器内科/血液・腫瘍内科/小児科/産婦人科/外科

3. 予約申込時に紹介状が必要な診療科

下記の診療科は予約日を決める際に紹介状が必要です。
予約申込書と併せて、FAXをお願いいたします。

呼吸器内科/血液・腫瘍内科/小児科

※血液・腫瘍内科は採血データも必ず必要です。

4. 紹介状の事前FAXが必要な診療科

下記の診療科は受診前日までに紹介状の事前FAXをお願いし
ています。

循環器内科・腎臓内科・泌尿器科・脳神経内科

5. 画像データ（CD-R）の有無をお聞きしてい る診療科

心臓血管外科・呼吸器外科

6. その他

患者さんの旧姓・以前の住所等を確認させていただく場合が
ございます。お手数おかけいたしますが、ご協力のほどよろ
しくお願いいたします。

旭川赤十字病院 予約申込時の注意事項

〈診療予約申込について〉

- 1.申込時は、**診療予約申込書の太枠内**に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
- 2.当院の患者番号がわかる場合は、**患者番号と患者氏名のみ**記入いただき、**患者情報の記入は不要**です。
- 3.**重要：呼吸器内科、血液・腫瘍内科**を予約する場合、**診療情報提供書も同時にFAX**してください。
- 4.お申込みの内容によっては、追加情報をご依頼する場合があります。（担当者様にご連絡いたします）
- 5.予約日時が決まりましたら、FAXで返信いたします。

平日受付時間内の場合は、**FAX確認後15分程度**の時間を要します。

平日受付時間外（金曜除く）の場合は、**翌日の返信**となります。

金曜時間外、休診日の場合は、**休診日明けの返信**となります。

- 6.当院からの**返信が確認できない場合**、お手数ですが**地域医療連携室までお電話**をお願いします。

- 7.受診日前までに**診療情報提供書の作成**をお願いいたします。

診療情報提供書作成後は**地域医療連携室にFAX**のうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

〈共同利用予約申込について〉

- 1.申込時は、**共同利用申込書の太枠内**に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
- 2.当院の患者番号がわかる場合は、**患者番号と患者氏名のみ**記入いただき、**患者情報の記入は不要**です。
- 3.お申込みの内容によっては、追加情報をご依頼する場合があります。（担当者様にご連絡いたします）
- 4.予約日時が決まりましたら、FAXで返信いたします。

平日受付時間内の場合は、**FAX確認後15分程度**の時間を要します。

平日受付時間外（金曜除く）の場合は、**翌日の返信**となります。

金曜時間外、休診日の場合は、**休診日明けの返信**となります。

- 5.当院からの**返信が確認できない場合**、お手数ですが**地域医療連携室までお電話**をお願いします。

- 6.検査日前までに**診療情報提供書の作成**をお願いいたします。

診療情報提供書作成後は**地域医療連携室にFAX**のうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

- 7.**造影検査**を希望の場合は、申込時に**造影検査同意書(チェックリスト)**と**造影検査説明書**を併せてFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

〈共同利用予約時間一覧〉

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
CT・MRI		11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	×	11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	15:00～ 15:30	11:00～ 11:30	×
RI	骨シンチ	11時頃注射 (14時頃撮影)	×	×		11時頃注射 (14時頃撮影)	×	11時頃注射 (14時頃撮影)	×	×	
	腫瘍シンチ ガリウムシンチ	○ (注)		○ (注)		○ (注)		○ (注)		○ (注)	
	脳血流 スペクト	×		11:00～ 11:45	×	×		×		11:00～ 11:45	×
	DAT スキャン	12時頃注射 (15時頃撮影)		×		12時頃注射 (15時頃撮影)		12時頃注射 (15時頃撮影)		×	
超音波 (腹部・甲状腺)		12:00頃		11:00頃		12:00頃		12:00頃		11:00頃	
脳波		9:00～15:00		9:00～15:00		9:00～15:00		9:00～15:00		9:00～15:00	
肺機能検査		9:00～11:00		9:00～11:00		9:00～11:00		9:00～11:00		9:00～11:00	
検査可能人数/日		4名		3名		4名		4名		3名	

・予約時間は当日の検査状況によって多少お待ちいただく場合がございます。

・詳しくは地域医療連携室までお問い合わせください。

(注)時間は要相談となります。

例

旭川赤十字病院 診療予約申込書（FAX専用）

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX:

TEL:

〈受付時間〉 8:30~16:30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日~1月3日

5月1日（開院記念日）

申込年月日 2024年 5月 10日

紹介元

住所: 〒

医療機関名:

主治医:

TEL:

FAX:

担当者:

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号 ()	なし	不明
フリガナ	ニッセキ タロウ	男	大・昭	55年 5月 1日 (41歳)
患者氏名	日赤 太郎			
住所	〒070-8530 旭川市曙〇条〇丁目			〇-〇〇〇〇
希望診療科	消化器内科	希望医師がいる場合	医師	
希望日時	第1希望 6月 1日 時頃	第2希望 6月 8日 時頃	希望なし	
患者の状況	☒ 外来で返事を待っている ☐ 帰宅済み ☐ その他			

診療情報提供書

傷病名	
依頼目的	
既往歴及び 家族歴	
経過	
現在の処方	

受診希望日、もしくは都合の悪い
お日にちをご記入ください。
希望日がない場合は、希望なし
に〇をつけてください。

診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。

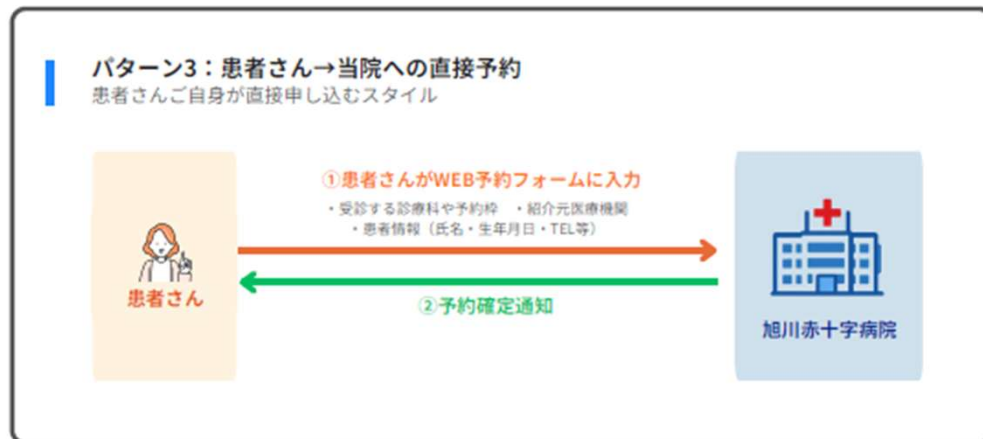
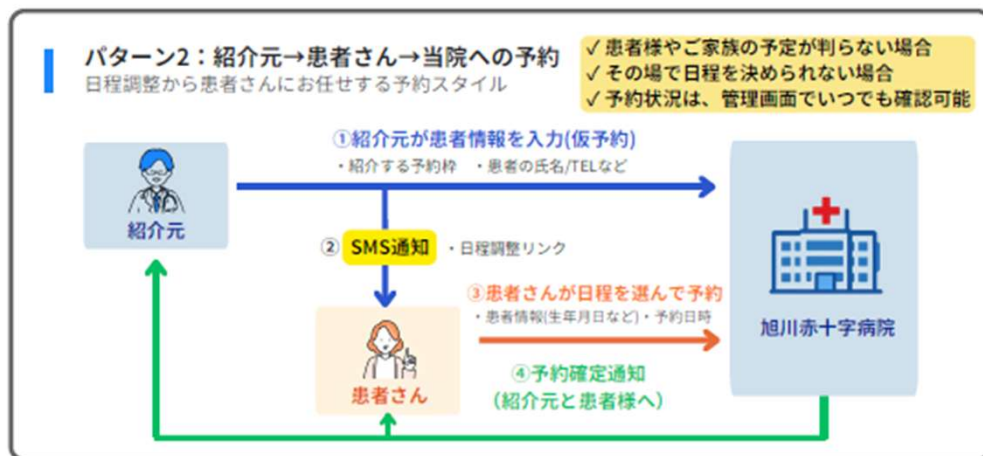
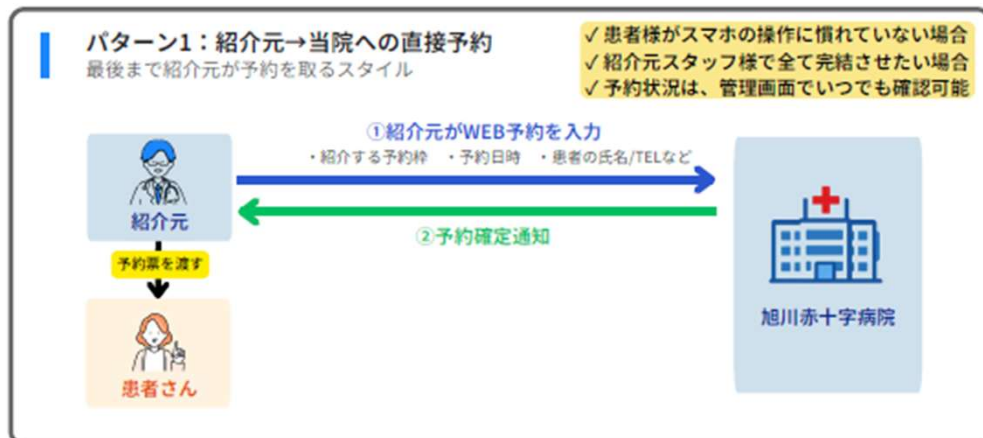
複数の診療科の予約申込をする場合は、科ごとに診療情報
提供書を作成・事前FAXをお願いします。

この用紙が診療情報提供書の原本となりますので、患者様に持参させてください。

2026年度より、スマートフォンやパソコンから簡単に予約ができるWEB予約システムを導入いたしました。インターネットを通じて、24時間いつでも診療のご予約・お申込みが可能です。ぜひご利用ください。

WEB予約可能な診療科（2026年7月時点）

消化器内科・耳鼻咽喉科・皮膚科・呼吸器外科・歯科口腔外科（順次拡大予定）



アカウント登録は
こちらから



当院が所有する医療機器を地域の医療機関の先生方に活用していただくことを目的に、高度医療機器の共同利用を行っております。当院で検査のみを行い、検査結果と放射線科医の読影レポートを原則検査翌日に依頼元の医療機関へ発送しております。また、異常があり緊急対応が必要な場合、当院で処置し、依頼元へ直ちに結果報告を行っております。当院の高度医療機器を活用し、地域の先生方にお役立ていただければ幸いです。

- ① 共同利用申込書に
必要事項をご記入ください。
※ホームページからダウンロードできます。
※造影剤を使用する検査をご希望の場合は
造影検査同意書(チェックリスト)・造影検査説明
書のご記入と併せてFAXをお願いいたします。



- ② 地域医療連携室まで
FAXをお願いいたします。
※診療情報提供書も
併せてFAX願います。



- ③ 検査日時が決定したら、地
域医療連携室より「検査日
程のご連絡」をFAX送信い
たします。



- ④ 診療情報提供書の原本を
患者様にお渡しの上、検査
日当日にご持参ください。



FAX予約の注意事項

1. 受付時間

平日8:30～16:30（外来休診日を除く）

2. 予約調整にかかる時間

連携室へFAXが届いた時刻が
受付時間内（平日16:30まで）の場合：確認後15分程度
受付時間外の場合：次の受付時間が開始してから順番に調整

例：4/15（土）13:00にFAXを受領した場合
→4/17（月）8:30から順番に予約調整

3. 紹介状について

検査の前日までに診療情報提供書を当院 連携室までFAXい
ただきますようお願いいたします。予約申込の時点で既に作
成されている場合は、申込の際にお送りください。原本は当
日患者さんをお持ちください。

4. 造影検査について

造影をご希望の場合は、申込時に造影検査説明書(チェックリスト)
と造影検査説明書を併せてFAXのうえ、原本は当日患者さん
がご持ちください。

6. その他

患者さんの旧姓・以前の住所等を確認させていただく場合が
ございます。お手数おかけいたしますが、ご協力のほどよろ
しくをお願いいたします。

例

旭川赤十字病院 共同利用申込書 MRI (FAX専用)

〒070-8530

申込年月日 年 月 日

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX:

TEL:

〈受付時間〉 8:30~16:30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日~1月3日

5月1日(開院記念日)

紹介元

住 所: 〒

医療機関名:

主 治 医:

T E L:

F A X:

担 当 者:

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号 () ・ なし ・ 不明
フリガナ	様 男	大・昭
患者氏名	女	平・令
住所	〒	—

患者番号がわかる場合は番号と
患者氏名のみの記入で構いません。

該当箇所にご記入をお願いします。

傷病名			
依頼目的			
希望日時	第1希望 月 日 時頃	第2希望 月 日 時頃	希望なし

診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。

該当箇所にご記入をお願いします。

受診希望日、もしくは都合の悪いお日にちをご記入ください。

放射線科医による読影レポートは必要ですか?		☒ 要 ・ 不要
造 影	☒ 無 ・ 有	1.造影検査の場合はMRI用の「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」も併せてFAX願います。 2.有の場合は下記①~③のチェック願います。 ①腎機能障害 : 無 (BUN値: Cr値:) ・ 有
部 位	☒ 脳	読影の要・不要、造影の無・有については必ず該当箇所にご記入ください。 ※造影有の場合は「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」を併せてFAX及び、①~③のチェックをお願いいたします。
問 診	★下記の項目() ①心臓ペースメーカー ②人工内耳や神経刺激装置 ③磁力で表着する義眼 ④カプセル内視鏡 ⑤人工関節 ⑥体内埋め込み型 ⑦手術や検査等 ⑧歯科用インプラント ⑨一週間以内に内視鏡での胃腸のポリープ切除あるいは止血処置 ⑩入れ墨(タトゥー)やアートメイク(まゆ毛、アイライン等) ※脱色、やけど、皮膚の炎症を起こす可能性があります。	体内金属が判明した場合は検査を中止する場合がございますので、問診内容の確認をお願いいたします。 ⑦~⑩で有の場合は撮影可能かの確認をお願いいたします。
注意事項	1.MRIが使用できない体内金属が判明した場合は検査を中止することがあります。 2.上記①~⑥で「有」の場合、MRI検査はできません。 3.上記⑦~⑩で「有」の場合、MRI検査の可否について事前に確認願います。 撮影不可とされた場合、予約は出来ません。	

2025.7

例

 旭川赤十字病院 共同利用申込書（FAX専用）
CT・RI・超音波・生理機能検査

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

地域医療連携室 宛

FAX:

TEL:

〈受付時間〉 8:30~16:30

〈休診日〉 土日・祝日

12月29日~1月3日

5月1日（開院記念日）

申込年月日 年 月 日

紹介元

住所: 〒

医療機関名:

主治医:

TEL:

FAX:

担当者:

 紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

患者情報 ※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。

旭川赤十字病院 受診歴	あり	患者番号 () ・ なし ・ 不明
フリガナ 患者氏名	日赤 太郎	様 男 女 大・昭 平・令 年 月 日 (歳)
住所	〒	患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみの記入で構いません。

該当箇所にご記入をお願いします。

傷病名	診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。		
依頼目的			
希望日時	第1希望 月 日 時頃	第2希望 月 日 時頃	希望なし

希望の検査項目・部位に○をつけてください。

放射線科医による読影対応の検査

受診希望日、もしくは都合の悪いお日にちをご記入ください。

放射線科医による読影レポートは必要ですか？	☒ 要 ・ 不要
-----------------------	---

検査項目	検査部位	
CT	造 影	1.造影検査の場合はCT用の「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」も併せてFAX願います。 2.有の場合は下記①~③のチェック願います。
	☒ 無 ・ 有	読影の要・不要、造影の無・有については必ず該当箇所にご記入ください。 ※造影有の場合は「造影検査同意書(チェックリスト)」と「造影検査説明書」を併せてFAX及び、①~③のチェックをお願いいたします。
RI	骨シンチ	

検査結果のみ郵送となる検査

検査項目	検査部位	
RI	脳血流SPECT DATスキャン	その他 ()
超音波	頸部 腹部 (部位:)	担当技師のレポートが同封されます。
生理機能検査	脳波 肺機能検査 生理機能検査	

当院では、地域の医療機関の先生方にお役立ていただけるよう開放型病床を5床確保しております。ご利用を希望される場合は、地域医療連携室までご連絡いただきますようお願いいたします。

開放型病床の流れ

1.
開放ベッドの入院を希望される場合は、地域医療連携室までお電話にてご連絡ください。当日の担当医におつなぎいたします。
※受付時間は平日8時30分～17時00分まで
2.
患者さんは紹介状専用受付にて受付後、診察を行い診療科を決定し入院いたします。
3.
診療は当院医師と紹介元の先生と共同で行います。
4.
翌日以降の入院の継続もしくは、退院の決定についても当院医師と紹介元の先生と共同で行います。

① 地域医療連携室まで
ご連絡ください。



② 患者さんは当院で受付後
担当の診療科で診察を行
い入院いたします。



③ 入院後は当院医師と紹
介元の先生と共同で診
療を行います。



たいせつ安心医療ネットについて

旭川市内の全ての公的病院が情報提供施設となり、地域内での情報の共有、救急医療での情報利用を目的とした地域医療ネットワークです。ネットワークに参加された医療機関では、情報提供施設における電子カルテ等の診療情報を、インターネットを介して閲覧することができます。

たいせつ安心医療ネットをご利用いただくには、当ネットワークシステムへのご入会が必要となります。お申込みについては下記のたいせつ安心医療ネット事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

旭川市医師会（たいせつ安心医療ネット協議会事務局）

〒070-0029 旭川市金星町1丁目1番50号

TEL 0166-XX-XXXX

FAX 0166-XX-XXXX

E-mail : XXXXXXXXXXXXXXX@ahmic21.ne.jp



公式SNSの紹介

Instagram



@RED_CROSS_ASAHIKAWA

X



@asahikawa_rch

地域の皆様に当院のことを広く知っていただきたく、赤十字活動、院内行事、お知らせ等を不定期に発信していきます。ぜひフォローしてください。

医療支援センターは、入院前から退院後までの支援を一元的に行い、患者が地域で安心して療養続けられる体制づくりを担っています。入退院支援室・地域医療連携室・訪問看護ステーションの3部署が連携し、切れ目のない支援を提供しています。

入退院支援室

入退院支援室は、患者が自分らしい療養生活を選択できるよう、意思決定支援を中心に行う部署です。保健師・看護師・医療ソーシャルワーカーが、身体的・精神的・社会的・経済的背景を踏まえながら、入院前から退院後の生活まで見据えた支援を行います。必要に応じてACP（アドバンス・ケア・プランニング）を引き出し、地域の医療・介護機関と共有することで、継続した支援につなげます。

【入院前の支援】

入院支援コーナーにて以下の内容を伺い、入院の準備や入院生活について説明します。

- ・ 入院目的
- ・ 日常生活の状況
- ・ 入院までの経過

患者の価値観や希望を確認し、治療や療養に関する意思決定を支援します。

【入院中の支援】

担当の保健師、看護師や医療ソーシャルワーカーが主治医や関係多職種と情報共有し、病棟やベッドサイドで以下の支援を提供します。

- ・ 医療・看護上の課題と生活・介護上の課題を整理し関係多職種と共有
- ・ 退院後も継続する医療・福祉サービスの利用調整
- ・ 介護の継続に関する相談
- ・ 医療費に関する相談

患者の意思や希望を尊重しながら、退院後の生活を見据えた支援を行い、必要に応じてACPを整理し地域へ引き継ぎます。

【相談窓口】

以下の相談窓口としての機能も担っています。

- ・ がん相談支援センター
- ・ 脳卒中相談窓口
- ・ セカンドオピニオン
- ・ 入院時重症患者初期対応支援

疾患や状態に応じた専門の研修を受講したスタッフが相談に対応し、必要な支援につなげます。

相談希望の際は、窓口8番「医療支援センター患者相談窓口」へお越しください。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目

旭川赤十字病院 ⑧医療支援センター 患者相談窓口

（二条通り側 玄関横）

TEL : 0166-22-8111

FAX : 0166-XX-XXXX

入院支援係（入院支援コーナー）

退院支援係

相談支援係

療養支援係

地域医療連携室

地域医療連携室では当院が地域医療支援病院の役割を果たすべく、かかりつけ医である開業医の皆様、地域の医療機関、福祉関連事業所のご担当者様と連携を図り、急性期医療を中心に質の高い医療を提供し、地域医療に貢献するべく、その対応窓口としての以下の業務を行っております。

- ・ CT・MRIなど医療機器の共同利用の調整
- ・ 開放病床の利用窓口
- ・ たいせつ安心医療ネットの設定業務
- ・ 地域住民の皆様を対象とした公開講座
- ・ 地域の医療機関向けの研修会・講演会などを開催

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目

旭川赤十字病院 ⑧医療支援センター
(二条通り側 玄関横)

地域医療連携室

TEL : 0166-22-8111

FAX : 0166-XX-XXXX

旭川赤十字訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、かかりつけ医からの「訪問看護指示書」をもとに、利用者の家庭を訪問し看護を提供する部署です。看護の専門家が症状や生活状況を評価し、必要なケアを提供することで、住み慣れた地域で安心して療養生活を続けられるよう支援しています。

訪問看護の主な内容は以下の通りです。

- ・ 病状の観察と療養相談
- ・ 日常生活での看護
- ・ 医療的処置と家族への指導
- ・ 介護者への支援
- ・ 緊急時の対応（24時間体制）

常に医師や関係機関と連携し、利用者の在宅療養を継続的に支えます。

医療支援センターの一部署として、入退院支援室や地域医療連携室と連携し、情報交換がスムーズです。そのため、入院中から退院後、在宅療養まで切れ目のない迅速な対応が可能です。

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目旭川赤十字病院内
医療支援センター

旭川赤十字訪問看護ステーション

TEL 0166-XX-XXXX (直通)

FAX 0166-XX-XXXX

メール XXXXXXXXXXXX@asahikawa-rch.gr.jp

〒070-8530

北海道旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

【発行部署】 地域医療連携室

TEL（代表） 0166-22-8111

TEL（直通） 0166-XX-XXXX

FAX（直通） 0166-XX-XXXX

202608